

令和6年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

2 経過

- (1) 令和6年4月12日 松本市小中学校教頭会で周知
小中学校へプログラム一覧配布と申込書募集開始
- (2) 令和6年5月31日 申込書提出締切
随時プログラム実施

3 実施状況（令和7年3月現在）

- (1) 実施校 17校（小学校17校）
- (2) 実施人数 1,322人
- (3) 実施事業 30事業（18種類）
- (4) 実施団体 13団体

4 報告書目次

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～67頁
- (2) 令和6年度学習プログラム一覧 68～94頁
- (3) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 95頁
- (4) 【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ 96～97頁

【表紙写真】

左：波田小学校

中央：開智小学校

右：安曇小学校

「自然体感プログラム」

「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」

「梓川&奈良井川&際川ラフティング」

令和6年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

No.	学校名	講座番号、講座名		講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	開智小	18	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (91)	6/7	1～2
2	四賀小	10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年 (14)	10/28	3
3	四賀小	6	生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学（まなぶ）会	4年 (27)	6/21, 27	4
4	並柳小	18	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (49)	7/9	5
5	並柳小	25	水辺の観察会	NPO法人えんどっこ	2年 (43)	7/8	6～7
6	二子小	9	ぬかくどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり 応援団	3年 (29)	11/26	8～9
7	二子小	10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年 (30) 特別支援学級 (22)	11/11 11/12	10～12
8	筑摩小	10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (18)	11/26	13～14
9	今井小	24	身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年 (17)	10/10	15～16
10	中山小	10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (5)	10/31	17
11	源池小	28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (30)	9/5	18
12	源池小	36	いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in松本推進協議会	3年 (34)	9/12	19
13	開智小	28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (84) 3年 (97)	9/3	20～25
14	開智小	26	水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所	5年3組 (32)	7/19 10/25	26～28
15	開智小	15	自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	特別支援学級 (37)	8/29	29
16	安曇小	28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3, 4年 (14)	9/9	30～31
17	源池小	12	木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (16)	9/3	32
18	源池小	28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (36)	9/5	33
19	源池小	18	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (36)	7/17	34
20	源池小	10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	6年 (46) 5年 (42)	11/29 12/20	35～36
21	波田小	41	自然体感プログラム	NPO法人わおん	4年2組 (31)	6/17	37～38
22	島内小	4	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課	6年3組 (34)	10/18	39
23	安曇小	29	梓川&奈良井川&際川ラフティング	合同会社リトルピークス	5, 6年 (6)	9/4	40～41
24	明善小	12	木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (24)	9/18	42～43
25	芳川小	18	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (118)	9/10	44

No.	学校名	講座番号、講座名		講師	学年 (人数)	実施日	頁数
26-1	波田小	39	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	特別支援学級 つつじ1, 2, 3組 (20)	9/26	45
26-2	波田小	39	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	特別支援学級 つつじ4, 5, 6, 7組 (23)	10/2	46～47
26-3	波田小	39	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	相談室 (5)	10/22	47～48
26-4	波田小	39	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	特別支援学級 まつかぜ1, 2, 3組 (19)	10/29	49～50
27	大野川小	31	地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス	1, 2年 (15)	10/25	51
28	梓川小	12	木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ	6年1組 (36)	6/3, 6/19, 7/17, 8/28, 10/2	52～57
29	寿小		さとやま体験学習	寿さと山くらぶ	5年 (102)	10/1, 4	58～62
30	田川小	21	水について考える	すえなみブッシュクラフト スクール長野	4年 (40)	12/12	63～67
計	17校 (小学校17校)	18種類		13団体	1, 322人		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校4年	参加人数	91人
担当者	江口 友希・東城 千郁子 小川 ゆき	記入者	江口 友希
実施日（期間）	令和6年6月7日（金）2、3、4限目		
講師名	松本市上下水道局下水道課 両島浄化センターの職員 3名		
実施概要	① パワーポイントや模型を使って、下水道の仕組みについての話 ② ペットボトルに水とトイレットペーパー、ティッシュペーパーを入れて、振った後の溶け具合の実験 ③ 下水の中にいる微生物を顕微鏡で観察		
実施状況 （授業風景）	 写真1 模型を使って下水道の流れ方の実験  写真2 ペットボトルの水にトイレットペーパーとティッシュペーパーを入れて振り、溶け具合を見る実験をしているところ 写真3 浄化センターで出る污水にどのような微生物がいるのか顕微鏡の映像を見ているところ 		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・下水道の仕組みについて話の時、途中、家の水道の配管の実物を見せてくださったり、下水管の流れを模型を使って実験して下さったりなど、子ども達がよく分かるように工夫してお話していただきました。子ども達も食いつくように見えていました。 ・トイレットペーパーの実験では、「トイレの時にティッシュペーパーを使ってしまったことがあったので、使わないようにしたい」と書いていました。		

	・実際に浄化センターで出ている汚れた水を持ってきていただき、そこにどんな微生物がいるのか、顕微鏡の映像を見せていただきました。子ども達は、初めて見る微生物の映像に大興奮でした。また、たまたま普段見ることができないレアな微生物も見ることができました。子ども達の中には、「汚い水だけでなく、池の水や井戸の水にも、微生物がいるのかな」と新たな「問い」を持つ子もいました。 2 先生方の感想、要望等 ・今回初めて、下水に関する出前授業をお願いしました。浄化センターに社会見学に行く予定でいて、見学時間の関係上、微生物を使って水がきれいになっていく様子やどのような微生物がいるのかを見るのが難しいと考え、その前に見せることができないかと思っていたところで、このような出前授業があり大変ありがたかったです。 ・子ども達が興味関心が持てるように実験をしたり、その場で微生物を顕微鏡で見せてくださったりなどとても分かりやすい授業でした。子ども達も体験を伴っていたので、自分の生活を振り返りやすかったと思います。知っているようで知らない世界だったので、私たち教職員も実際に微生物を使って水がきれいになっていく様子を間近でみることで良かったです。また機会があれば、出前授業をお願いしたいと思います。
--	---

授 業 名	木について学ぼう～木の年輪バウムクーヘン作り～		
学校名、学年、学級	松本市立四賀小学校3年1組	参加人数	14人
担当者	村石 真理子	記入者	村石 真理子
実施日（期間）	令和6年10月28日（月）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他1名		
実施概要	・ 樹木と環境についての関わりや樹木の生長の仕方と年輪についてお話を聞いた。 ・ 樹木の年輪に例えたバウムクーヘンを作り、森林についての理解を深めた。		
実施状況 （授業風景）	 年輪をみると木の年が数えられます。  何回も焼くと、年輪みたいにバウムクーヘンが大きくなっていくね。  みんなで順番に仲良く混ぜようね。  美味しそう！本物の木の切り株ができた！		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 木に年輪があると初めて知って驚いた。他の木の年も調べてみたいと思った。 ・ バウムクーヘン作りがとても楽しかった。先生が作り方を分かりやすく教えて下さって嬉しかった。友達と協力して作ることができて、うれしかった。 ・ 家に帰って家の人と今日のことを話しながら食べたらおいしかった。 2 先生方の感想、要望等 ・ 木の年輪のでき方や年輪から分かることについて、3年生の児童に分かりやすく教えてくださり、子どもたちは身近な自然の素晴らしさを感じていました。また、これまであまり関心がなかった環境に目を向けるきっかけをいただきました。 ・ バウムクーヘン作りでは、作り方の説明や作業の手順が児童にとって分かりやすかったため、児童が落ち着いて上手にバウムクーヘンを作ることができ、満足感を得ることができました。また、衛生面や安全面にも大変配慮をしていただき、腹痛や火傷をすることがなく作ることができ、たいへんありがたかったです。		

授 業 名	生き物から学ぶ環境学習		
学校名、学年、学級	松本市立四賀小学校4年1組	参加人数	27人
担当者	柳沢 準二	記入者	柳沢 準二
実施日（期間）	令和6年6月21日（金） 校外学習は雨天のため延期し27日（木）に実施		
講師名	松本ホタル学会 藤山静雄氏		
実施概要	・生物の多様性とホタルの生態の講義 ・四賀小学校横の保福寺川の水生動物の採集と環境分析		
実施状況 (授業風景)	藤山静雄先生による、生き物多様性の重要性についてのお話や、ホタルも生きることのできる環境についてのお話を、クイズを取り入れていただき、楽しい雰囲気で見学も学習しました。   クイズに答える児童 生き物多様性の講義の様子 翌日は、四賀小学校横に流れる保福寺川の環境を調べるため、水生動物の採集を行い、生き物の分類と分析をしました。   保福寺川での生き物採集		
授業について	- 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ホタルだけを保護しようという考えでは、良くないことが分かった。 ・人間がこわした環境のせいで、絶滅危惧種がたくさんいることが分かった。 ・保福寺川は、予想以上にたくさんの生き物がいてびっくりした。 ・四賀地区は環境が良いことが分かったので、この環境を保っていきたい。 - 先生方の感想、要望等 ・5年連続して、松本ホタル学会の藤山先生をはじめ、会員の方に来ていただいて生き物と環境について楽しく学ばせていただいている。四賀地区にたくさん飛び交うホタルについてより深く学ぶきっかけになっている。子どもたちは、松本ホタル学会のみなさんと交流ができ、より自信をもって総合的な学習に取り組んでいると感じます。		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校4年	参加人数	49人
担当者	佐久間 恵・花村 至	記入者	佐久間 恵
実施日（期間）	令和6年7月9日（火）		
講師名	松本市上下水道局下水道課		
実施概要	・浄化センターまでの下水の流れ ・ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 ・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察		
実施状況 (授業風景)	  下水道が並柳小から両島浄化センターへ行くまでを、映像や実験を通して学習しました。   トイレトペーパーとティッシュの溶け方の違いを実験で体験し、浄水場で水の浄化をしているプランクトンを顕微鏡で見せてもらいました。		
授業について	- 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・トイレトペーパーとティッシュペーパーの溶け方の違いの実験が楽しかったです。振るのが楽しかったです。 ・微生物を実際に見れて、うれしかったです。微生物が、私たちの暮らしにも役立っていることを知ることができてよかったです。 ・初めて下水道の事を知って、色んな所で工夫をしているのを知りました。家で水道をきれいに使いたいです。 - 先生方の感想、要望等 ・準備や丁寧な打ち合わせなど、細やかに計画していただき、当日も子どもたちが興味を持って楽しく参加できました。		

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校2年	参加人数	43人
担当者	窪田 隆央・赤羽 仁美	記入者	赤羽 仁美
実施日（期間）	令和6年7月8日（月）		
講師名	NPO法人えんどっこ 大月健二氏		
実施概要	学校付近の用水路に住む生き物を採集し、観察した。		
実施状況 （授業風景）	 大月さんが、川の入り方、生き物の探し方を教えてください、子ども達もはじめは、おそるおそる川に入りました。  流れのある、深いところにたくさん生き物がいることがわかり、「いるいる！」と興奮気味の子ども達です。 捕まえたその場で、大月さんに生き物の名前を教えてくださいいただきました。  だんだん子ども達も大胆になり、生き物が苦手だった子も、夢中で探す姿もみられるようになりました。  最後に、みんなで捕まえた生き物を観察し、どのような生き物がいたか、その生き物の生息している川の汚れ具合はどうか、などを教えてくださいいただきました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・思ったよりもいろいろな生き物がいてびっくりした。 ・生き物を自分で見つけて、とることができて、とても楽しかった。 ・しじみなどの貝が、いると思わなかったので驚いた。 ・お話を聞いたら、川にいる生き物の種類で、川の水がきれいかどうかかわかると知って、すごいと思った。 ・ほかにも、どんな生き物がいるかもっと調べたくなった。 ・ほかの川も調べてみたくなった。		

	2 先生方の感想、要望等 ・子ども達が興味をもって、とても意欲的に取り組み、とてもよい活動だった。 ・1クラス1時間の活動だったが、もっと時間を長くしてもよかった。 ・講師の大月さんの方で、網を準備していただけたのがありがたかった。
--	---

授 業 名	ぬかくどご飯体験		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校3年1組	参加人数	29人
担当者	中澤 菜緒美	記入者	中澤 菜緒美
実施日（期間）	令和6年11月26日（火）		
講師名	安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎崇徳氏 他3名		
実施概要	ぬかくど釜で炊き、そのご飯をその場でおにぎりにして試食した。 ご飯が炊き上がるまでの時間、お米やぬかくど釜についてのお話をしていただき、理解を深めた。		
実施状況 (授業風景)	①「もみがら」をお釜の中に入れました。もみがらを一人一人がお釜の中に入れました。その後点火してもらいました。  ②湯気の上がるお釜を目の前にしながら、ぬかくどの話とお米の話を聞きました。ぬかくど釜については、紙芝居の読み聞かせを学校職員でしました。また、子どもたちに向けて田んぼやお米についてクイズをいろいろと出していたので、子どもたちも進んで答えていたので、楽しく話を聞くことができました。その中で、お釜がとても効率がよく安全であること、燃料がもみがらなのでエコであることなどについて教えていただきました。松本や安曇野地区は、水源が豊富であることが一番心に残ったようで、自分たちの地域についての知識も広まりました。  ③ご飯が炊き上がり、お釜の蓋を開けると、もわっとたくさんの湯気が上がり、湯気からは炊き立てのごはんのいい香りを感じることができました。塩で味付けをもらい、紙に包んでおにぎりにします。握らない方がおいしいと聞き、みんな大事に扱っていました。簡単におにぎりを作れるこの方法を知り、家でもやってみたいと感想をもっていました。 		

	④試食の時間が来ると、何人かで輪になって笑顔で食べる姿があちこちで見られました。「甘い。」「おいしい。」と自然に感想が口から発せられました。また、安曇野の地下水も用意していただき、何杯もおかわりして飲んでいました。 3時間目に入ったくらいの時間でしたが、お腹がすいたと言ってぺろりと食べていました。終わりの会では、子どもたちに感想を言ってもらいましたが、「いつものごはんよりもおいしく感じた。」と、とても満足そうでした。
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・身近にあるものを利用して生活にいかしていく昔の人の工夫のすごさを感じることができた。 ・お米を扱ったことで、お米を炊く前にはお米を研ぐことさえ知らなかった子も多く、食べ物のありがたさや家でも手伝いをしてみようという気持ちをもつことができた。 2 先生方の感想、要望等 ・ぬかくどという昔の道具や地下水などについて知り、エコロジーや自分たちの住む地域について興味をもった子が多かった。 ・このような活動は、準備が大変なので自分たちだけではなかなか取り組めない。今回は、多くのことを安曇野ふるさと応援団の皆様にご協力いただき、実現することができた。万全の態勢でご準備いただき、大変有難かった。



授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校4年1組	参加人数	30人
担当者	上條 数子	記入者	上條 数子
実施日（期間）	令和6年11月11日（月）		
講師名	寿さと山くらぶ		
実施概要	1. 木の授業：カマツの切り口を見ながら年輪のでき方を教わった。年輪を通してわかること（木の生育、過去の気候など）を知った。 2. バウムクーヘンづくり：バウムクーヘンづくりを通して年輪のでき方を体験した。卵を割って生地をつくり、二人ひと組で協力して楽しく焼くことができた。		
実施状況 (授業風景)	  最初に校地内の木について説明を受けました。 輪切りにした杉の年輪に実際にさわりながら、年輪からわかることを教わりました。大きな木の切り口を初めて見たという子どもがほとんどでしたが、木の年齢や気候によって年輪の幅が違ってくるといってお話に感心していました。 また、干ばつの役割についてもお話いただきました。  全員が卵を割って、材料も全員で混ぜて生地を作りました。大量の生地がふくらみました。卵を初めて割る子どももいて、ドキドキしながら取り組み、うちでもやってみたいという気持ちをもっていました。  青竹に生地をつけてもらおうと、張り切って焼き始めました。教えて下さる方の指示を守りながら、ゆずり合って安全に焼くことができました。ネタがどんどん落ちていくのを何とか防ごうと2人で声をかけながら協力していました。  8歳（8層）のバウムクーヘンを自分たちで焼き上げ、青竹からはずし、切り口を見せてもらおうと、きれいな年輪のようになっていて、歓声が上がりました。大喜びで切れ端の味見をし、お土産でいただいたものを大切にカバンにしまっていました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・木の中身がこんなふうになっているなんてびっくりしました。 ・こげたところが線みたいになってバウムクーヘンの模様ができて分かりました。 ・切ったら本当に年輪のようになっていてうれしかった。 ・難しいかと思ったけど、教えてもらった通りにやったらうまくできてよかった。 ・最後に食べてとてもおいしかったです。一人で全部食べたい！ ・おうちの人と一緒に食べたい。 2 先生方の感想、要望等 ・講師のみなさんが子どもたちの指導に慣れていて、楽しく安全な学習とイベントにしてくださり、たいへんありがたかったです。ルールや順番を守ってお菓子作りを楽しみ、おいしく食べることができました。 ・木の生態に興味をもって聞くことができました。木の生態にさらに興味をもって学習に取り組めるように、事前に教室でやれることがあれば教えていただけると良いと思いました。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：7-2】

授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 特別支援学級	参加人数	22人
担当者	山田 慶	記入者	山田 慶
実施日（期間）	令和6年11月12日（火）		
講師名	【番号：7-1】と同様		
実施概要	木の話（年輪）を聞く。 竹に材料をつけ、両端を持ち、回しながらバウムクーヘンづくりを行った。		
実施状況 （授業風景）	・切り株を見ながら、年輪について学んだ。 ・交代で卵を割ったり、材料を混ぜたりした。 材料をつけた竹の両端を二人で持ち、炭の上でくるくる回しながら焼いた。 1組7～8回焼けた。		

	出来上がったものを切り分け、みんなで試食させてもらった。 
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・年輪の話がよく分かったようで、バウムクーヘンを焼きながら、「僕たちは今小学生になった。」と言っていた。 ・竹の両端を友だちと持ち、声をかけあって協力し、仲良く活動できた。 ・順番を守ったり、安全や衛生面に気をつけたりする姿が見られ、楽しい活動となった。 ・「おいしかった。」「楽しかった。」という感想を言っていた。 2 先生方の感想、要望等 ・講師の方に上手に声をかけていただき、どの子も落ち着いて活動でき、ありがたかった。 ・子どもたちが自分から動き、生き生きとしていた。 ・準備や片付けも全部やっていただき、お世話になった。 ・「また来年もやってみたい」と言っていた。

授 業 名	木の授業とバームクーヘン作り（自立活動）		
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 特別支援学級	参加人数	18人
担当者	柳澤 喜代子	記入者	柳澤 喜代子
実施日（期間）	令和6年11月26日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏、e e ネット 両角昌幸氏		
実施概要	・ 木の話（年輪のつき方、年輪からわかること、筑摩小学校にある木（つかまの森）の様子） ・ バームクーヘンの作り方説明と注意 ・ バームクーヘン作り（2人1組）		
実施状況 （授業風景）	 筑摩の森にある松は、もっともっと大きくなるのだと知りました。  材料のたまご㊤「殻がはいちやうよお」と心配しながら、ちょっと親指を入れて「えいっ」上手に割れました。たまごたっぷりです。  「まだまだ、大きく、太いバームクーヘンになるように焼くぞお」  「がんばれ、がんばれ」  「いいにおいがするね」 「おなかすいたあ」		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 木の学習では、筑摩の森にあるまだまだ大きくなるという松や大きな石をのみこもうとしている柳の木の姿にビックリしていました。 たまごを幾つも割ったり、粉を入れて混ぜ合わせる準備作業も楽しく活動できました。煙が立ち込める炭火の様子を体で感じながら、ペアになった友だちと、仲よく力を合わせて最後までバームクーヘンを焼くことができました。時々、おいをかいでいる子どもたちの顔が最高でした。 2 先生方の感想、要望等 準備から片付けまで、全て担って下さったことに感謝しています。 事前に学習をしたいとお願いすると、快く竹をお貸しいただけました。おかげで、何も分からないまま、不安のまま挑戦する子もなく、全員が意欲的に活動できました。「ここを持てば大丈夫だよ」「いいかんじ、まだ焼こうね」と、子どもたちに優しく声をかけてくださり、活動を見守っていただけました。 おうちの方からも「いっしょに美味しくいただきました」「貴重な経験ができました」と感謝の言葉をいただきました。本当にありがとうございました。
---------------	--

授 業 名	身近な自然観察		
学校名、学年、学級	松本市立今井小学校1年1組	参加人数	17人
担当者	織茂 幸子	記入者	織茂 幸子
実施日（期間）	令和6年10月10日（木）		
講師名	自然観察の会ひこばえ 村上さよ子氏、百瀬ちゆき氏		
実施概要	○今井小学校の学習公園で秋をさがして楽しもう ・いろいろなたねやいきものをさがしてみよう ・自然のものであそぼう（木の実のスプーンリレー） ・木の実を拾おう（くるみ、くり、どんぐりなど） ・クワガタの紙芝居 ・自由散策		
実施状況 (授業風景)	草や花をたくさん集めました。 「こんなにたくさんの種類があるんだね。」  くるみ・まつぼっくり、どんぐり、とちのみ・・・ たくさんの実をスプーンリレー。応援の声も大きくなりました。  オニグルミとカシグルミの違いを教えてくださいました。 		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・たくさん栗とくるみが拾えてうれしかった。 ・うちに帰って食べるのが楽しみ。 ・学習公園にはいろんなものがあることがわかった。 ・学習公園の地面の下にはモグラがいることがわかった。 ・木の実のスプーンリレーがとっても楽しかった。 ・クワガタの紙芝居が楽しかった。 2 先生方の感想、要望等 ・講師の村上さんと百瀬さんに草木や生き物のいろんなことを教えていただきながら学習公園内を歩くことで、いろんな植物や虫の名前を知ることができ、楽しみながら学習公園をより身近に感じることができました。自然の中で過ごし、子どもたちが心や体で自然を感じることで大変貴重な時間となりました。
---------------	--

授 業 名	木の学習とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立中山小学校 特別支援学級	参加人数	5人
担当者	祝迫 なおみ	記入者	祝迫 なおみ
実施日（期間）	令和6年10月31日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他2名		
実施概要	・学校の近くにある山の木の断面を見ながら、年輪についてお話を聞いたり年輪に触ったりした。 ・生地作りでは一人ひとり卵を割ったり、粉や砂糖を入れて混ぜたりした。 ・生地を竹に付けて炭火の上で回しながら焼くことをくり返し、バウムクーヘンを作った。 ・バウムクーヘンを切ってみると、木と同じような年輪の模様が現れた。		
実施状況 (授業風景)	 木の模様で何かわかるんだね。  卵、粉、砂糖を混ぜて生地を作ろう。  炭火の上で回して焼こう。  切ると年輪の模様が見えた。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・卵をがんばって割った。 ・火がちょっと熱かったけど、上手に焼けてうれしかった。 ・プレゼントしたら先生に喜んでもらってうれしかった。 ・また作りたい。 2 先生方の感想、要望等 講師の先生方が、子どもたちが自分でできるように配慮してくださりとてありがたかったです。子どもたちが見通しを持って自分から活動する姿がたくさん見られました。特に卵を割る時には、だんだん上手にできるようになってとてもうれしかったようです。 自分で作り上げる楽しさを味わったり、身近な人に喜んでもらってうれしいと感じることができたりして、満足した表情で活動を終えることができました。		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校2年1組	参加人数	30人
担当者	中島 郁子	記入者	中島 郁子
実施日（期間）	令和6年9月5日（木）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他4名		
実施概要	水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 ライフジャケットを着用しての水浮かび体験		
実施状況 （授業風景）	水の流れの特徴や気を付けることを 教えてもらったよ  川が逆に流れるの？  ぷかぷか浮くのは楽しいね  急な流れはちょっと怖いなあ 		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ いろんな種類の生き物が、いることがわかった。 ・ はじめは深いところは怖かったけど、ぷかぷか浮くことができて、楽しかった。 ・ きれいな川を大事にしていきたいと思った。 2 先生方の感想、要望等 川の楽しさだけでなく、危険なところも併せて、わかりやすくお話ししていただけて、子どもたちの川に対する関心も高まったような気がしました。 身近にある川をより知っていけるように、また学習にも取り入れていきたいと思います。		

授 業 名	生き物から学ぶ環境学習		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校3年1組	参加人数	34人
担当者	細山 ゆかり	記入者	細山 ゆかり
実施日（期間）	令和6年9月12日（木）		
講師名	いきものみつけファーム in 松本推進協議会 藤村哲氏、中澤朋代氏		
実施概要	・あがたの森公園で、蟬の幼虫の出た穴や抜け殻を観察したり、茂みの中にいろいろな昆虫が生息しているのを観察したり実際に捕まえたりしながら、自分たちに身近なあがたの森に豊かな自然が息づいていることを再発見した。 ・課題の自然物をさがすネイチャービンゴや鹿ゲームなどをしながら、生態系や人間と自然の関わりの課題について学び、考えた。		
実施状況 (授業風景)	 蟬の幼虫が出た穴は指の太さ  驚かさないようにそっと歩こう  どんな昆虫がとれたかな  これから鹿ゲームを始めます		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・せみのあなとねずみのあなのちがいがわかった。 ・あがたの森にこんなに虫がいるとは思わなかった。初めて虫にさわれた。 ・思い切って虫にさわってみた。虫をとる時の歩き方がわかった。 ・しかゲームをして自分たちも自然はかいをしているんだと思った。しかの生き方がわかった。 2 先生方の感想、要望等 ・子どもたちが日ごろから大好きなあがたの森を、広い遊び場としてだけでなく自然という観点からあらためて見てみることでまだ知らなかった色々な魅力があることに気づいていった。あがたの森をはじめ野外に出かけていく子どもたちが、自然の良さや生き物の営みに気づいたり見つけようとしたりする感性や意欲が、さらに育っていけばよいと思う。 ・専門家に案内されながら体験的に学ぶことができるのがありがたい。状況が許せば、季節ごとに体験学習を実施できれば良いと思う。		

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校2年1組	参加人数	27人
担当者	山地 理恵	記入者	山地 理恵
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	女鳥羽川に行き、水辺の安全学習及び川遊び・川の生き物探し ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。		
実施状況 (授業風景)	 〈川の安全講習〉 川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えていただきました。  〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。  〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所でも力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・川がますます好きになった。けれど、怖いこともあると分かったので、気をつけて遊びたい。 ・たくさん生き物がいて驚いた。見つけた生き物を大切にしたい。 ・はじめは怖かったけれど、ライフジャケットのおかげで、浮くのがとても楽しかった。もっと体験したくなった。 2 先生方の感想、要望等 最初は怖がっていた子も体験していくうちに「もう一度やりたい」「もっとやりたい」と、のめり込んで活動していました。地元の川でこんな体験もできるのだと、新たな発見ができたようです。自然に親しみ、学ぶことができたよい体験でした。 準備等も含め、学校職員だけではなかなか体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。		

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校2年2組	参加人数	31人
担当者	廣池 加奈子	記入者	廣池 加奈子
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	 〈川の安全講習〉 川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えていただきました。  〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。  〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・川の危険や深さのことが分かった。どうやったら命は守れるかという大切なことを教えてもらえてよかった。 ・浮くのが最初は怖かったけど、やってみたら楽しかった。 ・生き物をたくさん見つけられてよかった。大切に育てたい。 ・とっても楽しくて時間が足りない。またやりたい。 2 先生方の感想、要望等 最初は怖がっていた子もいましたが、だんだん楽しさがわかって「もっとやりたい。」「もう一回。」と大喜びでした。「川の生き物探し」では、短い時間に様々な生き物を見つけることができ、こちらも大喜びの子どもたちでした。本物に触れるということはやはり大切だと感じました。 場所を設え、安全に配慮して準備してくださったリトルピークスさんに感謝の気持ちでいっぱいです。		

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校2年3組	参加人数	26人
担当者	古畑 直美	記入者	古畑 直美
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	   〈川の安全講習〉 川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えていただきました。 〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。 〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・初めは怖いと思ったけれど、色んな生き物を見つけられた。 ・水が冷たくてドキドキしたけれど、生き物を探すのが楽しかった。 ・水の中は滑っていっぱい転んだけれど、浮くのがとても楽しかった。 ・もっといっぱい生き物を見つけたり、浮いたりして遊びたかった。 ・怖いところもあるけれど、遊び方をしっかり覚えてもっと楽しみたい。 2 先生方の感想、要望等 最初は「冷たい」「怖い」と言っていた子どもたちも、体験していくうちに「もう一度やりたい」「もっとやりたい」と、のめり込んで活動していました。こんな近くにこんな体験ができる場所があるんだと、新しい発見ができたようです。自然に親しみ、学ぶことができたよい体験でした。 準備等も含め、学校職員だけではなかなか体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。		

授 業 名	女鳥羽川リバーアドベンチャー②		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校3年1組	参加人数	34人
担当者	坂本 優	記入者	坂本 優
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 〈川の安全学習〉 川の流れや岸の名称を説明していただき、ペットボトルを使った実験を見て、川の知識を身に付けました。  〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、水中生物を捕まえました。はじめのうちは捕まえることを躊躇していた子どもたちも、周りを見ながら徐々に水になれ、楽しむことができていました。たくさんの生物に大盛り上がりでした。   〈女鳥羽川の探検〉 普段できない川の深みに飛び込むという体験ができました。想像以上の深さに驚いていました。 その後は川を歩きながら探検したり、ぷかぷか浮きながら川を下ったりして、楽しく遊びました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・たくさんの生き物をとれてうれしかった。 もっと色々な生き物をとりたい。 ・深いところに飛び込んだけど、すぐに浮いてきて、ライフジャケットはすごく大切だなと思った。 ・週末に家族を連れて川に行ったという人もいて、心に残る体験となったようです。 2 先生方の感想、要望等 担任自身、女鳥羽川にこんなに生き物がいるということに驚き、また川で遊ぶということ自体がどのようなことか想像できなかったのもとても勉強になりました。子どもたちが川で生き生きと遊ぶ姿を見て、自然で遊ぶ良さを再確認しました。講師のみなさんありがとうございました。		

授 業 名	女鳥羽川リバーアドベンチャー②		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校3年2組	参加人数	30人
担当者	和田 幸恵	記入者	和田 幸恵
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	〈川の安全学習〉 川の流れや岸の名称、川の危険な場所を説明していただいた。 〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、水中生物を捕まえました。捕まえたものを水槽に入れお互いに見合いました。どんな生物がいるか興味を持って見ていました。 〈女鳥羽川の探検〉 川の深みに飛び込み、楽しみつつ、川にはとても深いところがあることを学びました。深みに飛びこんだ後は、足元に気をつけながら川を歩き、深い所では川の流れに身をまかせて浮かび、川を楽しみました。    		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・身近な女鳥羽川に、いろいろな生物が棲んでいることを知ることができ、楽しそうでした。持ち帰ってきた生物は、残念ながらすぐに亡くなってしまったものもありましたが、生き残ったものは、1週間経っても大切に世話をしています。 ・川は、安全に気をつければとても楽しい場所であること、一方で、間違った遊び方をすると怖い場所であることを、身を持って学んでいたようでした。 2 先生方の感想、要望等 身近な生物や身近な自然に触れ合う機会を作りたいと思いながらも、川遊びは素人の大人一人では怖くてとても連れていけません。今回、川について詳しい方が何人もついてくださり、安全に楽しく川遊びをすることができました。ありがとうございました。		

授 業 名	女鳥羽川リバーアドベンチャー②		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校3年3組	参加人数	33人
担当者	大畑 幸亮	記入者	大畑 幸亮
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	   〈川の安全学習〉 川の流れや岸の名称、ペットボトルを使った実験で川の危険箇所を再確認しました。 〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、水中生物を捕まえました。昨年の経験を思い出し、草の根元に網を入れたり、石をひっくり返したりして、エビや魚など、数種類の生き物を捕まえることができました。子どもたちは、タイコウチなど水生昆虫が捕れたことに大喜びでした。 〈女鳥羽川の探検〉 深みに飛びこんだ後は、川の流れに身を任せて、ライフジャケットで浮いてみました。ごつごつした川底の石に気をつけて歩いたり、ぷかぷか浮いたりして、下流に向かいました。 		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 去年は夏の初め、今年は夏の終わりに川遊びが楽しめてよかった。生き物探しで、捕れる生き物が少し違うことがおもしろいと思った。 ・ 川はとても楽しいところだけれど、安全に気をつけて遊ぶのが大切だと思った。 ・ 川に浮くのが上手になった。深い所に飛びこんだり、潜ったりをもっと体験したい。 2 先生方の感想、要望等 7月に予定していましたが、天候等の影響で9月に実施となりました。昨年度、楽しさを経験している子どもたちは、この日を心待ちにしていました。教えるだけでなく、昨年の経験を想起させ、子どもたちが自主的に行動できるように授業を工夫していただき、ますます地元の川や自然に愛着をもつようになったと感じました。講師の先生方に感謝です。		

授 業 名	水族館ってどんなところ？－生き物らしさと生態展示		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校5年3組	参加人数	32人
担当者	加藤 就	記入者	加藤 就
実施日（期間）	令和6年7月19日（金）		
講師名	川の自然と文化研究所 美馬氏		
実施概要	○児童からの発表－水族館づくりの動機・水族館の構想・今の悩み ○講師の方からのお話－水族館の役割、生態展示について ○今後の方針について		
実施状況 (授業風景)	 説明 総合的な学習の時間で活動している水族館について、子どもたちから発表しました。クラスで飼っているウーパールーパーを見せたい、昨年度の水生生物の学習を生かしたい、という思いから唯一無二の水族館をつくりたいと、ビジョンを語りました。  説明 美馬先生から、世界の水族館の歴史についてお話してもらいました。日本は、世界で水族館の数が1番多いそうです。水族館には、①種の保存②教育・環境教育③調査・研究④レクリエーション、という役割があることを学習しました。  説明 クラスで飼っている生き物の飼い方を教えてもらいました。川の生き物の特性を生かせるような水槽のレイアウト、えさの管理、水をきれいに保つこと…丁寧に教えていただきました。  説明 「女鳥羽川に生息する魚のことをしっかり本で勉強してくださいね。」生き物の命を大事にしていくため、おすすめの本も紹介していただきました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・生き物の水槽そうじの仕方をくわしく教えてください。 ・金魚やメダカのエサでも食べますか？ ・今まで知らなかったことを詳しく教えてもらって、驚きました。いろいろなことを知っていてすごかったです！ ・たくさんのことを教えてもらい、成長につながったと思います。 2 先生方の感想、要望等 「川の生き物は、川にいた時のような、もともとの環境に近づけて飼わなければいけない」と考えていた子どもたちが、美馬先生のお話をいただき、今後の方向性を決めるきっかけになったと思います。クラスみんなで行う水槽そうじ当番もスタートし、主体的に取り組んでいます。なかなか生き物の学習を深められない児童にとっても、興味を引き付けられる内容でした。 今後、川に出向いた調査をする際も、ご協力いただければ心強いです。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：14-2】

授 業 名	水族館を作ろう ―女鳥羽川調査		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校5年3組	参加人数	32人
担当者	加藤 就	記入者	加藤 就
実施日（期間）	令和6年10月25日（金）		
講師名	川の自然と文化研究所 美馬氏、山本氏、大輪氏		
実施概要	○女鳥羽川の、場所ごとにどのような生き物がすんでいるのか探し、見つけた生き物を採取して調査する。 ○女鳥羽川の水温や水質を採取し調査する。		
実施状況 (授業風景)	 説明 注意や生き物の探し方などを確認し、さっそく女鳥羽川に入りました。桜橋の下付近を調査し、サワガニやヨシノボリ、ウグイやアブラハヤなど様々な生き物を調べることができました。  説明 開始数分で、美馬先生にカジカをとっていただきました。		

	説明 パックテストを使い、川の水質と学校の水道水の水質を比較しました。はじめてのパックテストでしたが、山本先生にやさしく教えていただきました。川の水温も場所を変えて測定していました。 説明 見つけた生き物をバットにあけて、種類ごとに違う入れ物に分けていきました。名前や育て方が分からない生き物については、実物を見ながら教えていただきました。クラスだけで生き物調査をした時よりも、多くの魚・水生昆虫を採取することができ、とても驚きました。全校にお見せする魚たちについて、もっと詳しくなることができました。
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 生き物の取り方を教えていただきながら、目を輝かせて調査をしていました。「川の水質を調べたい。」「どんな生き物がいるか調べたい。」「川の周りの草木を調べたい。」など事前にねらいを決めだしたことが結果としてわかり、達成感を感じていました。本当に川の生き物を水族館に展示してよいか悩む子もいましたが、クラスで責任をもって育てる、という覚悟も見られました。 「一緒に川行ってアドバイスをしてくれたり開始早々カジカを捕まえていたのすごかったです。いい体験になりました。」 「安全に生き物を、観察、採取できてよかったです。」 (子どもの感想より) 2 先生方の感想、要望等 パックテストなど、様々な調査方法をご準備していただいたおかげで、普段よりも活発に調査をすることができました。川に詳しい方がいることの心強さを感じるとともに、クラスとして経験値を得ることができうれしく思います。子どもたちは名残惜しそうに川を後にし、心から学習を楽しめていたように感じます。女鳥羽川とそこに住む生き物を大切にしていくなための水族館づくりをしていければと思います。 (その後…。) 講師の方にご協力いただいた後、水族館をオープンすることができました。全校に呼びかけたところ、150人以上の児童・先生にきていただき川の生き物を知ってもらいました。中でも、カジカやアブラハヤの稚魚の人氣が高く、普段岩陰に隠れているカジカが顔を出すと、それを見た子がとても喜んでいました。水族館閉館後、「お世話になった美馬先生・山本先生・大輪先生にも見に来てほしかった」という声もあり、川学習の経験が児童の心に残っているのだな、と感じました。また何かの折に、水族館での経験をお伝えできればと思います。本当にありがとうございました。

授 業 名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校 特別支援学年	参加人数	37人
担当者	担任 牧野 公彦 他5名	記入者	牧野 公彦
実施日（期間）	令和6年8月29日（木）		
講師名	NPO法人わおん 山田氏、吉沢氏		
実施概要	・学校敷地内で剪定された枝木を切断し、のこぎりで工作に適した大きさや太さに切断した。 ・1～2年生は、細枝キーホルダーと輪切りキーホルダーの制作、3～6年生は、輪切りキーホルダーとぶんぶんこまかこまを制作した。		
実施状況 (授業風景)	 敷地の剪定木の樹木の名前がわかったよ  お気に入りのキーホルダーが完成。ヤッター。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 のこぎりによる木の切断は、苦勞する姿が見られたが、ねばり強く取り組むことができた。キーホルダー等への彩色や絵柄付けは、とても楽しそうに取り組み、どの子もその出来栄に満足そうであった。「楽しかった。」「面白かった、またやりたい。」という感想が出ていた。 2 先生方の感想、要望等 学校敷地内の剪定木が利用できたことは、児童の制作への興味関心を高めた。キットを用いての工作に慣れていた児童にとって、まさに自然そのものを素材にした制作はとても有意義であった。		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校3・4年	参加人数	14人
担当者	横山 享司	記入者	横山 享司
実施日（期間）	令和6年9月9日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他3名		
実施概要	1 スライドショー「大河の一滴」 2 学校近くの黒川・梓川・島々谷川での川に親しむ活動 (1)水流・水温 (2)水生生物と川の汚れ・植生との関連学習 (3)危険回避 (4)川とのかかわり（歴史・環境）		
実施状況 (授業風景)	1 スライドショー「大河の一滴」 小峰氏より地元梓川の水についてレクチャーをいただいた。学区にある槍ヶ岳を源流とする梓川。大地を浸食・堆積させ、動植物を育て、水道や農業工業用水として人々の生活を潤し、奈良井川と合流し犀川と名前を変える。世界的な景観をもつこの梓川の近くに住む私たちに何ができるのか。 小峰氏は語った。「川は自然の血管です。この人の手で血管を切ってしまったら本来の循環ができなくなります。川は単に水を運ぶ単なる自然、文化、人の心を支える血管の役割を果たします。」 2 黒川での親水体験 着替えを済ませた子ども達は学校近くの黒川へ向かった。上流部に人がいないので水がとてもきれいで飲むこともできる。それでも、水が黒く見えるのは川にある岩石が黒いから。真砂化した花崗岩を多く含む上高地の梓川とは様子が違う。子ども達は水流に身を任せ、水のパワーを実感。 ここで水生生物を観察したが思ったよりも個体数が少ない。これは上流に針葉樹が多く川に栄養が入りにくいためだと学んだ。 3 梓川を泳いで渡る 黒川と梓川の合流点に出て梓川の右岸から左岸に泳いで渡った。 川の上流方向約45度に身体の向きを保持することによって、川の流れ（動水圧）を利用して自分の進みたい方向に泳ぐアグレッシブスイミングポジションを学んだ。頭では理解できても実際にやってみるとどん		

	どん下流に流されていく子ども達。必死に泳ぐがなかなか対岸に着けない。プールとは全く違う水の力を感じていた。この後河童に引きずり込まれた「安曇の民話」を想起しながら水深4mの淵を泳いで、島々谷川へ向かった。 4 島々谷川の水流  梓川の支流島々谷川の合流点。昭和20年に水害を起こしたこの川は直線的だ。置かれたコンクリートブロックが水流の変化を生み出している。水は逆流し渦を作っている。子ども達はここに身を任せ、水の動きを実感した。すぐ脇に淵があった。 水温が高いので子ども達は冷えた体を温めた。水中生物がどんどん捕れる。水温と水質、栄養と生物との関係についてこの場所でも実践的に学んだ。
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 黒川は流れが強く岩がゴツゴツしてたので歩くの大変だった。梓川はものすごく冷たくて泳ぐのがすごく大変だった。島々谷川は逆流しているところで浮くのが楽しかった。黒川では石を見た。梓川では泳いだりした。島々谷川では泳いだり、生き物を探したりした。生き物はタイコウチやヤゴやタガメがいた。川は楽しいけど、怖いとも思った。途中ゴミが置きっぱなしになってたけど、捨てた大人はよくないと思った。 2 先生方の感想、要望等 本校では3、4連学年構成により隔年で「梓川梓水苑脇」と「黒川」のリバーアドベンチャーを行っている。現4年生は地形の成り立ち、3年生は安曇の養蚕と関連しながら学びを深めることができる。高学年や中学校で上高地や梓川を様々な視点で探究する過程でこの活動の意義は非常に大きいと考える。いつも感じているがリトルピークスの方は一人ひとりの子どもに寄り添いながら、川の魅力と人のかかわりについて示唆をしてくださり、大変感謝している。

授 業 名	木材の活用法（小物づくり）		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 特別支援学級 (5学級合同)	参加人数	16人
担当者	担任 両澤 佳代・天野 やよい・ 豊口 敦子・和田 美和子・吉嶋 哲男	記入者	吉嶋 哲男
実施日（期間）	令和6年9月3日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木氏、吉沢氏		
実施概要	・制作するものと、その作り方の説明を聞いた（ペン立て、キーフック）。 ・ペン立てを作りたい子とキーフックを作りたい子に分かれ、それぞれ制作した。 ・時間に余裕があるときや、どちらにも挑戦したい人は、両方の作品を制作することもできた。（数人は両方の作品を仕上げることもできた。）		
実施状況 (授業風景)	 作り方の説明を聞こう  こうやってのこぎりを使うのか  自分でやってみると意外に難しいな！  こんな素敵な作品が仕上がったよ！		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・用意してもらったウサギの飾り物などがとてもかわいくて、素敵な作品になった。 ・自分で拾ったどんぐりや落ち葉も使って、満足のいく作品ができた。 ・のこぎりで木を切るのはちょっと大変で難しかったけど、楽しかった。 ・がんばって二つの作品を作った。どちらもお気に入りの作品になった。 2 先生方の感想、要望等 ・制作の難易度が適切で、また講師の先生の支援も手厚く、どの子も満足のいく作品を仕上げることでありがたかった。 ・のこぎりで木を切ったり、ドリルであけた穴に棒を通して固定したりするなどの、木工の基本的な作業を上手に体験させていただき、子どもたちのよい経験になった。 ・素敵な作品が仕上がったので、機会があればぜひまたやらせてあげたい。		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校4年	参加人数	36人
担当者	小岩井 直人	記入者	小岩井 直人
実施日（期間）	令和6年9月5日（木）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他		
実施概要	・ 川の流れの特徴や危険な場所などについての講義 ・ 川の流れを使った川遊び ・ 水生昆虫など生き物採集		
実施状況 (授業風景)	 川の流れについての説明 危険な流れや場所について学習しました。  流れに乗ってぷかぷか浮かぶ。 浅そうに見えても、実は深い!!  一人一人網をもって、水棲動物探し。 清流ならではの生き物をたくさんつかまえる事ができました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 身近な薄川だけど、遊んだことが無かったので、よかった。 ・ 生き物がたくさんいてびっくりした。自然が残っているんだと思った。 ・ 流れのちがう所や深いところがあってびっくりした。深いところは足がつかないくらい深かった。 ・ これからも薄川を大切にしたいと思った。 2 先生方の感想、要望等 ・ 教員の引率のみでは、このような川で遊ぶ体験は危険で難しいので、今回のように専門の講師の方に来ていただける機会があると大変ありがたいです。 ・ 川の指導と言うとどうしても「近づかない」「遊ばない」となってしまうがちな昨今、このように、正しく危険を教えていただき、安全な遊び方ができるようになる今回のような体験の必要性を改めて感じました。 ・ 川での今回の体験が、総合的な学習の時間の活動や社会科の防災学習につながった。実体験をしているぶんさらに学習が深まったように感じます。		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校4年	参加人数	36人
担当者	小岩井 直人	記入者	小岩井 直人
実施日（期間）	令和6年7月17日（水）		
講師名	松本市上下水道局下水道課		
実施概要	松本市の下水道について 下水道が流れる仕組み（実験見学） トイレtpーパーとティッシュペーパーの溶け方の違い（実験）		
実施状況 （授業風景）	 マンホールについての学習  紙のとけ方の違いの実験  処理中の水にいる微生物の観察  下水道クイズ、真剣に聞いています		
授業について	- 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・微生物がたくさんいておどろいた。 ・汚れた水が、微生物の力できれいになるのにびっくりした。 ・同じ紙でも、トイレtpーパーはすぐに細かくなった。ティッシュは全然細かくならなかった。トイレに流しちゃいけない理由が分かった。 ・使い終わった水がどうやってきれいになっているかがよくわかった。 - 先生方の感想、要望等 ・微生物を見せていただいたり、紙の実験をしていただいたり、実感を伴う講座で、子どもたちもとても分かりやすかった。 ・下水道の仕組みを身近に感じることができ、教科書学習だけでは実感できない学習ができた。 ・浄化センターに実際に見学に行くための事前学習として行うことができ、大変ありがたかった。		

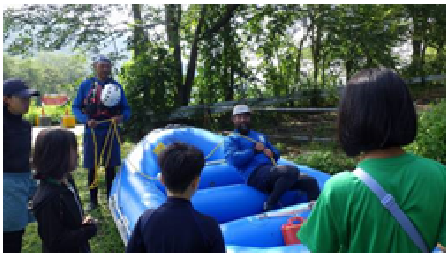
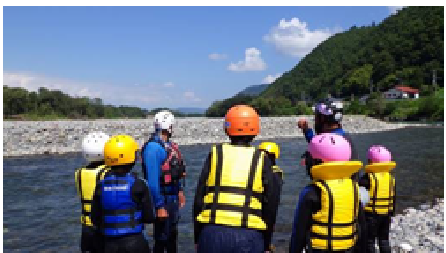
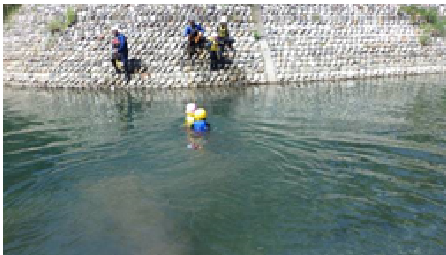
授 業 名	バームクーヘンづくりをしよう		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校6年	参加人数	46人
担当者	上里 笑美	記入者	上里 笑美
実施日（期間）	令和6年11月29日（金）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏		
実施概要	・木の年輪の仕組みについて学ぶ。 ・子どもたちやさと山くらぶのみなさんと協力して、バームクーヘンのつくり方を知る。		
実施状況 (授業風景)	    ○バームクーヘンをつくるのが初めての子どもたちが多く、とても興味津々だった。卵を割ることも、粉を混ぜることもとても楽しそうに取り組んでいた。竹に液をつけて焼くときは、煙の多さにびっくりしていたが、顔を真っ赤にしながら一生懸命竹を回していた。出来上がってバームクーヘンを食べたときは、一層喜んでいました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・最初は難しいと思ったけど、だんだん慣れてきて楽しくなった。 ・卵をちゃんと割れたのがうれしかった。 ・自分で作ったバームクーヘンは、おいしかった。 2 先生方の感想、要望等 ・おいしかったです。（53歳） ・困ったことがあれば、すぐに講師の先生方にたずねることができる環境が本当にありがたいです。子どもたちもとても頼りにしています。 ・子どもたちにとっても教員にとっても大変実りのある時間になりました。本当にありがとうございました。		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校5年	参加人数	42人
担当者	浦 嘉宏・折橋 佑樹	記入者	折橋 佑樹
実施日（期間）	令和6年12月20日（金）		
講師名	【番号：20-1】と同様		
実施概要	・ 森の役割や間伐をする意味、年輪のお話 ・ バウムクーヘン作り		
実施状況 (授業風景)	 おいしくできるかなあ？  年輪からわかること		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 年輪のことが勉強できて楽しかった。 ・ 木は生きているというお話がとても勉強になった。 ・ 年輪は木の成長などがわかることを知ることができた。 ・ バウムクーヘン作りはむずかしかったけど、おいしくできてよかった。 2 先生方の感想、要望等 ・ 窯や竹など、材料以外のものをすべて用意していただいてありがたかったです。学校だけでは、なかなかできない体験をさせていただいて、とても有意義な時間でした。		

授 業 名	自然体験プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校4年2組	参加人数	31人
担当者	青柳 智之	記入者	青柳 智之
実施日（期間）	令和6年6月17日（月）		
講師名	NPO法人わおん 山田勇氏、山田直美氏		
実施概要	松林を活用した活動の経験 ・ 自然素材を使った宝探し ・ 松ぼっくり集め～松ぼっくりの玉入れ ・ キックゴルフ 今後の活動の相談		
実施状況 (授業風景)	 ・ 木の枝を玉切りにして作った「宝」を事前に松林の中に隠しておき、班対抗で探し合った。林の中では人工的なものはすぐに見つけられるが、自然で出来たものはなかなか見つけるのが難しいことを知った。  ・ 松ぼっくりを班対抗でどれだけ高く積めるか、ゲーム形式で競い合う。「多く」ではなく「高く」ということが、面白みを増した。松林にあるものを活用した遊びを経験することで、特別なものではなく、そこにあるものを生かして考える面白さを体感した。  ・ 集めた松ぼっくりを活用して、さらに活動が続いた。張られたロープにバンダナでゴール（カゴ）を作り、松ぼっくりの玉入れ。バンダナをロープに工夫して縛ったり、みんなで玉入れしたりする中で、自然に友との関わりが生まれていく。  ・ 自分たちが設定したゴールに向かって、松ぼっくりを蹴るキックゴルフ。自分たちのコースを体験した後は、他の班が作ったコースをみんなで楽しむ。全て松林にあったものでゲームが完結する。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 「松ぼっくりをつんだり玉入れをしました。ほかにも松ぼっくりでゴルフをしたりまんげきょうを見たりしました。しぜんでいっぱい遊べて楽しかったです。」 「初めに星が書いてある玉のような物をさがすゲームをしました。次に松ぼっくりを使ったゲームを3つやりました。松ぼっくりだけでこんなに楽しく遊べるとは思っていませんでした。楽しかったです」 「いろんな遊びをしました。一番楽しかったのは、木の板を見つけるものです。しかも、しつ問する時間もあって楽しかったです。」 2 先生方の感想、要望等 昨年度（別の学年）に引き続き、実施させていただきました。児童の実態に合わせて活動を考えていただき、とても有意義な活動を行うことができました。
---------------	--

授 業 名	まつもとの環境について学ぼう「松本市環境基本計画関連講座」		
学校名、学年、学級	松本市立島内小学校6年3組	参加人数	34人
担当者	片桐 智也	記入者	片桐 智也
実施日（期間）	令和6年10月18日（金）		
講師名	松本市環境・地域エネルギー課		
実施概要	松本市の環境基本計画の中の、ゼロカーボン、地球温暖化防止のための取り組みや、住みやすい街づくりについてお話をいただいた。		
実施状況 (授業風景)	今回の授業では主にプログラムの①ゼロカーボン政策と地球温暖化防止のための取り組み、⑤心地よいまちづくりのための取り組みについてお話をさせていただきました。  「環境とは何か」という定義  地球温暖化防止のためにできることを考えよう		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・土・水・緑をふやすと、地球の温度が減少すると知れたから、少しでも地球の温度が高くならないようにしたいと思った。 ・難しい言葉もあったけど、ちゃんと分かりました。そしてコンクリートの上に植物を敷くだけで、約20度も温度が変わるんだと驚きました。わかりやすい説明でいっぱい知れて楽しかったです。 ・自分が思っているよりも、二酸化炭素がいろいろなところで発生しているということに驚きました。また自然についても細かく知れてよかったです。これからは自然にやさしい取り組みも自分からしていきたいです。 2 先生方の感想、要望等 自分たちの住む自治体で行われている活動について知るきっかけになりました。今回のお話からさらに学習を深めていきたいと思います。		

授 業 名	梓川&奈良井川&犀川ラフティング		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校5・6年	参加人数	6人
担当者	近藤 陽子	記入者	近藤 陽子
実施日（期間）	令和6年9月4日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他3名		
実施概要	・上高地から流れ出た梓川が木曽を源流とする奈良井川と合流し、犀川となっていく様子を見る。 ・信濃川水系中流域の川の様子を観察し、上流と下流との違いを実感する。 ・実際にラフティングすることを通して、川のもつ侵食・運搬・堆積作用の力を実感する。		
実施状況 (授業風景)	 最初に、ガイドの小峰さんから、川での安全な遊び方やボートから落ちたときの対処法などを教わる。その後、奈良井川で初めてのラフティングに挑戦。思っていた以上に川の流れが速いことに驚く子どもたち。流れの速さを体感した。  奈良井川と梓川が合流する地点の中州に上陸。川の働きである侵食・運搬・堆積の様子を観察した。梓川の最終地点にも行き、水の冷たさや透明度の高さも感じることができた。石を見ればどの山から流れてきたか分かると教わり、石の見方も広がった。  川の流れの変化によって生じた「天然のプール」に立ち寄り、泳いだり、飛び込んだりして川に親しんだ。最初は怖がってロープで引っぱってもらっていた子も、後半は自ら川に飛び込み一人で対岸まで泳ぐことができた。  最後は犀川をゆったりとラフティング。毎日学校から見ている梓川が奈良井川と合流し、さらに大きな流れとなってその先へと続いていくことを実感することができた。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 自然から教わることはたくさんあるなと思いました。川の上から地上を見ると、いつも見ているような景色じゃなくて、すごく壮大な感じがしました。 ・ 川は車から見るとゆっくり流れているように見えるが、意外と速いスピードで流れていくのが驚きでした。川を下っていくと白い波の所でボートがゆれたり、岩にぶつかって向きが変わったりして、そういうのがおもしろいからラフティングは楽しいのだと思いました。 ・ 槍・穂高・霞沢岳のような山から来ている石と乗鞍岳と焼岳の火山岩があり、それらがけずられたりした石が川にはありました。つまり、山のかけらが川にあるということでした。川だけではなく、石や岩のことも知れてよかったです。 2 先生方の感想、要望等 ・ ラフティングをしながら、理科の内容である川的作用（侵食・運搬・堆積）を実際に確かめることができ、良い学習となった。 ・ 水しぶきを浴びながら波に乗り、川の流れに身を任せる感覚は、普段の生活では味わえない刺激的な体験だった。最初は不安を感じていた子も、リトルピークスの皆さんの温かいサポートのおかげで、自然との一体感を感じながらのびのびとチャレンジすることができた。 ・ ふるさとの川を体感し、川での遊びを楽しめたことは、ふるさとの自然を見つめ直し、大切にしたいと思う心につながると感じた。
---------------	---

授 業 名	木材の活用法（小物づくり）		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	24人
担当者	丸山 昌孝	記入者	丸山 昌孝
実施日（期間）	令和6年9月18日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ：鈴木氏、吉野氏 e e ネット：吉沢氏		
実施概要	ふれあい教育展(10/1 実施)に展示する作品を、寿さと山くらぶの皆さんに、木切れや木の実などの自然素材を使い、器具や用具の使い方を教えていただきながら楽しく作ることができた。		
実施状況 (授業風景)	 講師の先生から、木材の種類や使い道等についての説明を真剣に聞いています。  講師の先生にサポートしていただきながら、ドリルで穴を開けています。  作りたいものをイメージしながら黙々と制作に取り組んでいます。  壁掛けの土台になる板を紙やすりで、一生懸命磨いています。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ いろいろな種類の木材と出会った瞬間、子どもたち一人ひとりの目に輝きが生まれ、「すぐに作りたい!!」という気持ちがとても感じられた。そのような中でも、講師の先生の材料や道具の使い方の話を真剣に耳を傾けて聞くことが、ほぼできていた。 ・ 特に加工せず、ボンドなどの接着剤でいろいろな材料を付けるだけで、面白みのある木工作品に仕上げることができたので、のこぎりなどの道具の扱いに慣れていなかったり、工作を苦手としていたりする子どもたちにとっても、楽しい制作活動の時間となった。一方、自分の作りたいイメージに向かって、材料を切ったり、講師の先生に相談にのっていただいたりする子どもたちの姿も見られた。 ・ 一つの作品を作り上げたときの子どもたちの表情が印象的だった。		

	2 先生方の感想、要望等 ・講師の先生方が、子どもたちの様子をよく見ながら対応していただき、本当にありがたかった。また、子どもたちの作りたいもののイメージを聞き取り、それに合わせて材料を用意していただき、子どもたちも見通しをもちながら安心して取り組むことができた。 ・材料を豊富に用意していただいたことで、子どもたちも意欲をもちながら楽しく作ることができた。
--	---

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立芳川小学校4年	参加人数	118人
担当者	瀧澤 雅美	記入者	瀧澤 雅美
実施日（期間）	令和6年9月10日（火）		
講師名	松本市上下水道局下水道課 職員3名		
実施概要	・ 下水処理の仕組み ・ 微生物を電子顕微鏡で見る ・ トイレトペーパーとティッシュペーパーの溶け方実験		
実施状況 (授業風景)	 水循環のお話  マンホールのふたのお話  トイレトペーパーとティッシュペーパーを入れての溶け方の比較実験  下水処理場で使われている微生物を電子顕微鏡で観察、解説 		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 3人の講師の先生が、テーマごとに丁寧に話してくださり、「微生物の動く様子を見られたり、名前を覚えてくれたりして楽しかった。」「普通のティッシュをトイレで使わない理由がよく分かった。」「水の汚れを微生物の力できれいにしているとは知らなかった。」などの感想が出た。 2 先生方の感想、要望等 バス代が高騰し、見学に行く場所を絞らなければならない状況で、学校への出張授業はありがたかった。クラスごとの実施にいただいたので、講師の先生のお話も聞きやすかった。 実際に、下水道局のお仕事をされている方から、見学に行ったかのように、下水処理のお話を聞いたり、実験を体験させていただいたりでき、子どもたちもよい学びができたと思う。社会科での水の学習や、浄水場見学とも結びつけて考えられる子が多く、実施内容・時期も適当だったように思う。 学校・学年予算の限られる中、外部講師の先生に来ていただきたくてもなかなか予算が確保できないので、無料の講座は大変ありがたかった。		

授 業 名	体験を通して学ぶ「自然や環境」について		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 特別支援学級 つつじ1・2・3組	参加人数	20人
担当者	下村 迅人・遠藤 優子・鎌倉 奈保子	記入者	下村 迅人
実施日（期間）	令和6年9月26日（水）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村哲氏		
実施概要	・自然のものビンゴ ・森の中で自然を感じる ・川の中の生き物さがし ・やぎ、チャボとのふれあい ・森の中で植物さがし、木の実ひろい ・秘密基地での活動		
実施状況 （授業風景）	 秘密基地に登って、高い所から景色を楽しみました。下にいる子どもたちは、やぎやチャボにあげるためのエサを探しています。  川の中にいる生き物を探しました。ザリガニらしきものを見つけましたが、残念ながら逃げられてしまいました。  ヤギと一緒に写真を撮りました。ヤギやチャボは子どもたちに大人気で、エサをたくさんあげました。チャボの抱っこは、交代でやらせてもらいました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ヤギがエサをたくさん食べてくれてうれしかった。 ・チャボの抱っこは少し緊張したけど、抱いてみるとかわいかった。 ・学校のブランコよりも高くこぐことができて楽しかった。 ・涼しい山の中でたくさん遊ぶことができて、うれしかった。 2 先生方の感想、要望等 ・学校では体験できない自然と触れ合う体験ができて、子どもたちが良い表情をしていた。 ・動物と触れ合う児童が多く、エサをあげている様子が楽しそうだった。 ・他のクラス・異学年の子どもとの関わりが多くあり、普段なかなかできない経験をすることができた。		

授 業 名	体験を通して学ぶ「自然や環境」について		
学校、学年、学級	松本市立波田小学校 特別支援学級 つつじ4・5・6・7組	参加人数	23人
担当者	吉越 栄子・寺田 智子 佐々木 美幸・勝家 里佳子	記入者	吉越 栄子
実施日（期間）	令和6年10月2日（水）		
講師名・実施概要	【番号：26-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 チャボを抱っこ。見ているとやってみたくなくなって交代で抱っこさせてもらいました。始めはおそるおそる、なでるように触っていた子どもたちも少しずつやさしいチャボになっていきました。ヤギさんにも、拾った栗をあげて、モグモグ食べる姿にびっくり。  山登り大好き。どんどん登っていく子どもたちです。  大自然の中のブランコきもちいい～交代でのりました。  たからの地図のあるはっぱ、こんなにみつけちゃった。みんな違う地図だね！ 近くの川で、生き物探し。さががにを見つけた児童もいました。残暑の厳しかった中でしたが、森の中は、別せかいで、風も心地よく、あっという間に時間が過ぎました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・チャボを抱っこできてうれしかった。 ・やぎがくりをムシャムシャ食べてびっくりした。 ・大きなブランコがきもちよかった。 ・「たからのちずのはっぱ」をいっぱい見つけた。 2 先生方の感想、要望等 ・学校では体験できない自然と触れ合う体験ができて、どの子どもとても表情がよかった。 ・チャボを抱っこしたり、ヤギにエサをあげたり、初めはなかなか近づけなかった児童もだんだんに慣れてきて、お別れが寂しい様子でした。 ・森の中は、空気が違っていて、風も心地よく、葉っぱをさがしたり、山登りをしたり、川でかにを探したり、普段できない体験ができました。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：26-3】

授 業 名	自然の中で遊んで学ぼう		
学校、学年、学級	松本市立波田小学校 相談室	参加人数	5人
担当者	高山 勝行・石田 智恵	記入者	高山 勝行
実施日（期間）	令和6年10月22日（火）		
講師名・実施概要	【番号：26-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	① やぎ、チャボとのふれあい  ヤギに好物の柿の葉や実を恐る恐るあげていました。慣れてくると、ヤギを散歩させたり、チャボをだっこしたりして、動物とのふれあいを楽しんでいます。 ② 川の生き物探し トンボの幼虫を見つけては喜んでいました。 キノコ探しでは、「このキノコ、食べられるの？」と聞きながら食用キノコを探していました。 		

	③ 森の遊具で遊ぶ  スラックライン渡りでは、何度も落ちながら、完全制覇を目指して挑戦していました。  ④ 柿とり ヤギにあげるための柿を木の棒でとっています。なかなかうまくいかず、苦労していました。
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ○子どもたちが楽しかったこと ・キノコ採り（森の中で宝探しをしているようだった） ・ヤギの散歩（ヤギの力が強く引っ張られた） ・チャボと遊んだこと（だっこできた） ・スラックラインの綱渡り（何度も挑戦して、できたときは嬉しかった） ・ブランコ（高くまでとぶことができた） ○子供たちの感想から ・講師の先生が「分からないことがあったら、人に聞いたり、本で調べたり、ネットで検索したりして分かればいい」と言っていたことを心がけて頑張っていきたいと思います。 2 先生方の感想、要望等 ・ヤギとチャボとのふれあいでは、最初、恐る恐る近づいていたが、慣れてくるとチャボを持ち上げたり、ヤギの散歩に挑戦していました。講師の先生から、ヤギは柿の葉や実が好物だと聞き、近くにあった柿の木から柿を取って何度もヤギに与えていました。新たな発見に驚いていました。 ・森の中での、水中生物探しでは、トンボの幼虫を見つけて喜んでいました。最初、持ち帰ろうとしていましたが、自然の中で生活させるのがいいと話し合って、元の場所に返していました。 ・キノコ探しでは、キノコを見つけては、講師の先生にネットで調べてもらって、食べられるか確認していました。キノコを色や形まで細かく観察しながら、その後、探していました。 ・遊具では、成功するまで、何度も挑戦する姿が見られた。どうすればうまく渡れるか試行錯誤しながら挑戦していました。 ・教室の中では、体験できないことがたくさん体験でき、子供たちは半日、生き生きと楽しく生活できていました。

授 業 名	体験を通して学ぶ「自然や環境」について		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 特別支援学級 まつかぜ1・2・3組	参加人数	19人
担当者	新村 邦子・木下 靖之・武井 直子	記入者	新村 邦子
実施日（期間）	令和6年10月29日（火）		
講師名・実施概要	【番号：26-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	 「やぎさん、おいしい？ むしゃむしゃ食べてるね。 おなかがすいてるんだね」  「なんか生き物いないかな？ この辺にいるらしいよ。 もう1回探してみよう。」  「やったー！ おっきいやゴが見つかったよ！」  最初はこわかったけど、 一回すべてみたら 楽しかった！ ・天候が心配でしたが、元気に体験できました。 ・普段はすぐにあきらめてしまう子も、生き物を探したい一心で、時間いっぱい水の中を探していました。 ・道具の扱いや片付けについても、約束を守って活動できました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ちゃぼさんを抱っこできてうれしかった。 ・やぎがかわいかった。 ・ヤゴを見つけられてうれしかった。 ・スラックラインが難しかったけど楽しかった。 ・やぎさんが葉っぱをいっぱい食べてくれてうれしかった。 2 先生方の感想、要望等 ・学校や教室の中では体験できないことをたくさん経験できて、よかったです。 ・身近で動物と触れ合ったり山の中で生き物を探したり、学校や家庭ではできない体験ができてよかった。 ・波田の自然に触れることができ、貴重な体験をさせていただきました。大きなキノコや朴葉などなかなか見れないものが見れてよかった。かつらの木から降りる体験もなかなかできないので、とても良かったです。
---------------	--

授 業 名	秋の乗鞍さんぽ 大野川の歴史を歩いて学ぼう		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校1・2年	参加人数	15人
担当者	担任 鶴田 佳奈子・中澤 清子	記入者	中澤 清子
実施日（期間）	令和6年10月25日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏		
実施概要	晩秋の乗鞍の紅葉を眺めながら歩き、乗鞍の自然や歴史について学んだ。 保護者・地域の方も一緒に歩いた。		
実施状況 (授業風景)	  ガイドの小峰さんに、乗鞍の自然について教えていただきました。   落ち葉の斜面をくだったり、オオカエデの紅葉を楽しんだりしました。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・秋の乗鞍高原は、とても気持ちがよかった。 ・知らない花や植物の名前をたくさんおしえてもらった。 ・オオカエデの色が、とってもきれいだった。 2 先生方の感想、要望等 ・保護者や地域の方にも一緒に参加していただけてよかった。 ・樹液のにおいから、森のにおいを体験できた。 ・焚火の体験でき、火をおこすコツも指導していただけてよかった。		

授 業 名	木材の活用法・・・《サンキュープロジェクトA ①》		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和6年6月3日（月）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏		
実施概要	・校地内にある樹木の伐採体験と観察		
実施状況 (授業風景)	○伐採の手順と注意事項を聞く  ○分担を決めて伐採体験をする   ○ロープを操る担当は合図をしながら操作をする   ○切り株の観察をする   ○倒した木材を運ぶ。 ・持ち上げられない木の運び方を 教えてもらう 		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・改築のために生きている木を切ってしまうのはかわいそうだと思った。だから僕はこれからも木を大事にして、木のことを神だと思って大切にしていきたい。体験していろいろ分かってよかった。 ・木を切る前は簡単だと思っていたけれど、実際に伐採してみると、とても大変だった。でも楽しかった。 2 先生方の感想、要望等 ・みんな木を切ることに興味をもって行っていた。切り倒した木の断面を見て色や年輪などをすぐに眺めて数えるなどしていた。 ・講師の方が早くからきて準備をしてくださったので、スムーズに体験ができありがたかった。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-2】

授 業 名	木材の活用法・・・《サンキュープロジェクトA ②》		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和6年6月19日（水）		
講師名	【番号：28-1】と同様		
実施概要	○学校林の伐採木の加工（プレートづくり） 〔学校の敷地に植樹されている木に、木の名前を調べプレートを付ける〕		
実施状況 （授業風景）	①製材した板をのこぎりで切る  ②ヤスリがけ、穴あけをしてプレートを作る  		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・初めて作るので心配だったけれど、丁寧に教えてくれたので楽しかった。プレートの材料が、全部自然に返るもので仕上げていくので、いいと思った。 ・自分の作っているプレートが、中学に行っても残っていると思うので、小学校にいた証拠になるから一生懸命作って仕上げたい。 2 先生方の感想、要望等 ・今回も、ヤスリがけの道具や穴あけのドリルも児童用を準備してくださったので、自分のプレートを自分で作り上げることができたことがとてもよかった。 ・子供たちは、木を磨くのに時間がかかって大変な作業だったが、どの児童も一生懸命に取り組めた。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-3】

授 業 名	木材の活用法・・・《サンキュープロジェクトA ③》		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和6年7月17日（水）		
講師名	【番号：28-1】と同様		
実施概要	・学校林の伐採木を使った品物作り ・学校の樹木につけるプレートの仕上げ		
実施状況 (授業風景)	○プレート作りの続きをする。 ・前回仕上がらなかった人は、プレートを磨いたり穴あけをする。 ○チームごとに品物づくりをする。   〈あんどん作り〉  〈巣箱作り〉  〈タオル掛け・キーホルダー掛け作り〉		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・初めてタオル掛けを作ったけれど、自然のもので作ることができてすごいと思った。次回も工夫をして作りたい。 ・竹馬の森からいろいろな材料を見つけてきたが、いつも遊んでいるところにも使えるものがあることに気づけて良かった。また、別のものも作ってみたい。 ・自分が作ったものを誰かが買ってくれるか心配。買ってもらえるように、次回も頑張りたい。 2 先生方の感想、要望等 ・子供たちが作れそうな作品を見本として作って持ってきてくださったので、作りやすかった。また、当日までに木を切って準備しておいたので、すぐに取り掛かれたので全員が一つ作品を作ることができた。また、小物（ビーズ・紐・箸など）なども用意してあり、ありがたかった。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-4】

授 業 名	木材の活用法・・・《サンキュープロジェクトA ④》		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和6年8月28日（水）		
講師名・実施概要	【番号：28-3】と同様		
実施状況 (授業風景)	①プレートにニス进行ぬり仕上げる。  〈ニスの扱い方の説明を受ける〉  〈自分のプレートにニスをぬる〉 ②チームごとに作品を作る。    〈巣箱作り・・・設計→組み立て→ダボを打ち付け完成〉  ・自分が担当している作品を、マルシェで販売するために、『欲しい』と思えるようなものに仕上げていく。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・プレートにニスをぬったら、すごくいい感じになってうれしかった。 ・巣箱作りは難しかった。切っておいた木が組み合わせてみると合わさらずに切りなおしたけれど、次回には完成させたい。 2 先生方の感想、要望等 ・前回と同様に作品を作っていると、家から持ってきた飾りをつけるなどの工夫が見られたり、教えあう姿が見られたりした。今回は、教えてもらう時間ではなく、自分からどんどん工夫をして意欲的に作っていた。 ・講師の方は、子どもと一緒に工夫を考えながら補助をしてくださったのがとてもよかった。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-5】

授 業 名	木材の活用法・・・《サンキュープロジェクトA ⑤》		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	36人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和6年10月2日（水）		
講師名・実施概要	【番号：28-3】と同様		
実施状況 (授業風景)	○チームごとに品物を作る   《作った作品》      		

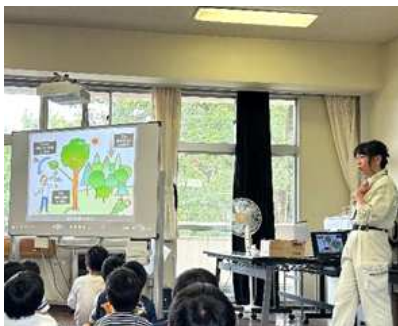
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・キーホルダーやネックレスは、作りたい形にカットするのが難しかったし、タオル掛けもちょうどいい木を見つけて穴をあけて作るというのが難しかった。でも、楽しかったのでいい経験になった。 ・学校の記念の木で作ったので、全校の人に気に入ってもらいたい。 ・もっといろいろなものを作りたい。 ・今まで切った木のことなど考えなかったけれど、こんな風にいろいろなものによって使えることが分かったので、これからは自然の木も大切にするけれど、ただ捨てるのではなく何かに利用してみたい。 2 先生方の感想、要望等 ・昨年度から2年をかけて、講師の方にはいろいろなことを教えていただき子どもたちが自然の木に関心をもってくれたので、大変ありがたい授業だった。
---------------	--

授 業 名	里山体験学習 事前学習会		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校5年1～3組	参加人数	102人
担当者	青柳 寛太	記入者	青柳 寛太
実施日（期間）	令和6年10月1日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他1名		
実施概要	【里山体験 事前学習会】 ・里山体験学習の説明（過去の写真を見ながら日程説明） ・里山の役割についての説明 ・里山での注意点，林業についてのお話		
実施状況 （授業風景）	 ○里山体験学習の概要説明 最初に、公民館長さんより里山体験学習の内容や順序、注意点についてお話をお聞きしました。公民館長さんは過去の5年生が実施した時の画像を用いて具体的に説明してくださり、子ども達はスクリーンを見ながら熱心にお話を聞いていました。  ○里山の役割と堰堤についての説明 続いて、財産区議長の西村さんから、里山が果たしている役割と堰堤の大切さについてお話していただきました。土砂の流出を防ぐために堰堤が作られ、全部で10号あるということを聞くと、子ども達は驚いた様子でした。   ○里山での注意点について 次に寿さと山くらぶの鈴木さんより、山の木の役割について実際に子どもたちを木に例えて説明をしていただきました。1本の木では弱くてもたくさんの木が植えられることで倒れない木が育つことを教わりました。 最後には、木の伐採に使う道具が進化したことに伴い、作業効率が飛躍的に上がったことをお聞きし、実際の山での作業服などの装備を見せてもらいました。当日はこれを使って実際に木を伐採する場面を見せていただくことを聞き、当日に向けての期待を膨らませる児童の様子が感じられました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・里山について知ることができてよかった。 ・早く里山に行ってキノコ採集をしたい。 ・森にも色んな役割があることが分かった。 2 先生方の感想、要望等 ・実物を見せていただくことで子どもたちのイメージが湧いたと思うのでありがたかったです。 ・山に囲まれながら生活を日々送っていますが、山の役割や山の仕事について知らないことがたくさんあったので教員も学ばせていただきました。 ・子どもたちが里山学習を通して少しでも山について興味を持ったり、大切にしていこうと思ったりしてくれるといいなと思います。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：29-2】

授 業 名	さとやま体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校5年Aグループ	参加人数	51人
担当者	青柳 寛太	記入者	青柳 寛太
実施日（期間）	令和6年10月4日（金）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他5名		
実施概要	【里山体験学習】 ・森の働きの説明 ・山の仕事の説明 ・ノコギリで丸太を切って名札づくり ・キノコ汁を食べる		
実施状況 (授業風景)	 ○森の働きの説明 雨天のため、校内での学習に変更となってしまいましたが、たくさんの講師の方にそれぞれの視点で山についてお話をいただき、勉強することができました。森で育った木は、燃料になったり、家具になったり、食料が育ったりと自分たちの身の回りには森で育った木がたくさん使われていることがわかりました。また、森には空気を守ったり、動物や虫たちの家の役割を果たしたりしていることを知り、森を大切にしていけないといけないという気持ちを持つことができました。  ○山の仕事の説明 柳沢林業さんに山での仕事についてお話を聞いたり、実際に仕事で使用する道具を見せていただいたりしました。チェーンソーや斧など木を切り倒すときに使う道具に、普段目にすることのない子どもたちは興味津々でした。		



○ノコギリで丸太を切って名札づくり

用意していただいた丸太を2cmほどに切りました。多くの大人の方に手伝ってもらいながらなんとか切ることができました。最初は苦戦していた子どもも、慣れるとだんだん手際よく切ることができていました。

子どもたちからは「思ったより難しかった。」「きれいに切れて嬉しい。」といった声が聞こえてきました。切り終わり、やすりで擦った後は各教室に戻りマッキーで文字を書いたり、模様を書いたりしました。名札が完成すると嬉しそうに、すぐに付けて友だちと見せ合っていました。



○キノコ汁を食べる

寿さと山くらぶの方々にキノコ汁を作ってください、お昼にいただきました。普段キノコが嫌いという子も「おいしい。」といって食べていました。おかわりをする子もたくさんおり、山の幸を堪能することができました。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・里山に行けなくて残念だったけど、自分で木を切ることができて嬉しかった。
- ・山は自分たちの暮らしを支えてくれているものの一つだから、これからも山や自然を大切にしていきたいと思った。
- ・キノコは苦手だけど、キノコ汁がとっても美味しかった。

2 先生方の感想、要望等

悪天候のため急遽校内での活動になってしまったのは残念だったが、半日かけて山についてのお話を聞いたり、実際に触れ合ったりする活動ができて充実した時間を過ごすことができました。また、里山を大切に管理し、自分たちの学習のためにたくさん準備をしてくださった地域の方々がいることに気づき、自分たちの住む地域のあたたかさを感じることもできた一日になりました。今後もこのような活動を通じて、子ども達と学校と地域とのつながりがさらに強くなっていくことを願っています。

授 業 名	さとやま体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校5年Bグループ	参加人数	51人
担当者	青柳 寛太	記入者	青木 和英
実施日（期間）	令和6年10月4日（金）		
講師名・実施概要	【番号：29-2】と同様		
実施状況 （授業風景）	○森の働きの説明 雨天のため、校内での学習に変更となってしまいましたが、たくさんの講師の方それぞれの視点で山についてお話をいただき、勉強することができました。森で育った木は、燃料になったり、家具になったり、食料が育ったりと自分たちの身の回りには森で育った木がたくさん使われていることがわかりました。また、森には空気を守ったり、動物や虫たちの家の役割を果たしたりしていることを知り、森を大切にしていけないといけないという気持ちを持つことができました。 ○山の仕事の説明 柳沢林業さんに山での仕事についてお話を聞いたり、実際に仕事で使用する道具を見せていただいたりしました。チェーンソーや斧など木を切り倒すときに使う道具に、普段目にするのこぎりの子どもたちは興味津々でした。 ○ノコギリで丸太を切って名札づくり 用意していただいた丸太を2cmほどに切りました。多くの大人の方に手伝ってもらいながらなんとか切ることができました。最初は苦戦していた子どもも、慣れるとだんだん手際よく切ることができていました。 子どもたちからは「思ったより難しかった。」「きれいに切れて嬉しい。」といった声が聞こえてきました。切り終わり、やすりで擦った後は各教室に戻りマッキーで文字を書いたり、模様を書いたりしました。名札が完成すると嬉しそうに、すぐに付けて友だちと見せ合っていました。 ○キノコ汁を食べる 寿さと山くらぶの方々にキノコ汁を作っていただき、お昼にいただきました。普段キノコが嫌いという子も「おいしい。」といって食べていました。おかわりをする子もたくさんおり、山の幸を堪能することができました。		

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・ 山の木が自分たちの住む町を守っていることをどうやって守っているかまで知ることができた。山の木を大切にしていかななくてはいけないと思った。 ・ いろいろなこぎりがあることが分かった。また実際に切ってみると大変だった。でもさと山クラブの方が切ってくれると、すごく速くきれいに切っていた。 2 先生方の感想、要望等 校内での活動になってしまったがとても残念でしたが、その中でも工夫して子どもたちに山の大切さを伝えて頂けたとても良い機会だったと思います。大勢の地域の方がこの行事にお手伝いに来ていただいていることを考えると地域でも里山を大切にしている、ということが子どもたちにも伝わったように思います。 今後もこのような活動が続いていけるとよいのですが、バス代等各家庭に負担していただくのは難しく、補助をいただくとなるとその手続きが煩雑で、学校職員にとっては負担増となっています。何とかこの地域とのつながりを感じられる行事を続けていけるように、補助に関わる手続きの簡略化をお願いしたいところです。
---------------	---

授 業 名	総合的な活動の時間「水について考える」		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4年1組	参加人数	21人
担当者	笠原 愛	記入者	笠原 愛
実施日（期間）	令和6年12月12日（木）		
講師名	すえなみブッシュクラフトスクール長野 末次氏 他1名		
実施概要	・【講義】水の循環 ・【体験】ろ過器の作製し、きれいな水（飲める水）を作る		
実施状況 (授業風景)	【講義編】：「自然の水の中の循環は、どうなっているのか？」  子どもたちは、総合的な学習の時間「かがやきプロジェクト」と称して、水に関わる活動を行ってきた。 浄水場で作られる水道水を知り、地域探検を通して、湧き水があることを発見したり、 20年かけて作られる天然水があったりすることを学んだ子どもたちは、実際に、自分たちでも飲める水は作れるのかという興味関心や疑問を持ち、授業に取り組んだ。 既存の学習を振り返り、水蒸気や土の中を通して、地上に出てくる水の事や、自然に関することについて学び、子どもたちは、納得したり、図に表したりして、講義を聞いていた。  講義の中で、「全ては学びに」「メモをとる」「協創する」という3つの大事なことを聞くと、子どもたちは、さらに自分でこの後行うろ過体験を楽しみにしている様子が随所にあった。 【体験編】：「飲み水を作ってみよう」 休憩の時間には、泥水を観察し、「この水が本当に飲めるようになるのかな？」「このペットボトルで本当にきれいになるの？」などと、疑問を持っている様子があったが、炭や小石といった日常にあるものを使うと聞くと、さらに本当に？と疑問を持っている様子。 早く自分で取り組んでみたいという気持ちを高めていた。 		

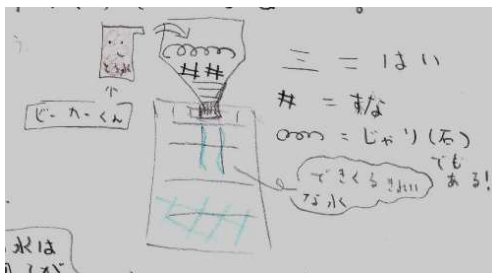


「本当に、この茶色の水が、きれいな水になるの?」「めっちゃ茶色!!」と、いいながらろ過器に濁った泥水を入れていく子どもたち。

濁った泥水は、なかなか下の待ち受けているペットボトルに入ってこない様子だったが、最初の一滴に感動し、どんどん水が滴り、たまっていく水の色が透き通っている色になっていることに驚きを隠せない様子。

「めっちゃ透明になってる!!」

「きれいな水になってる!!」などと、自分たちのペットボトルの装置を通して、きれいになってくる水を知ることができていた。



ろか装置に、講師の方から手順や方法を聞きながら、ペアで協力して、きれいな水を抽出しようと体験開始。

「棒でしっかり土をぎゅうぎゅうにしてね。」という助言に、子どもたちは、

「このくらい固くするの?」

「もっとゆるい方がいいのかな?」

などと、どのくらいの固さが良いのか試行錯誤している様子もあったが、自然と会話が生まれ、講師の先生方にも積極的に質問しながら、ろ過装置を作ることができた。



子どもたちは振り返りを書き、地元の水の豊かさを感じながら、これからも水を大切にしていきたいという今度につながる事ができた。

授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・お手製のろ過器で、水がとてもきれいになるとは思わなかった。もし、災害などで水道が出なくなったら、今日学んだことを生かしたいと思った。 ・身近な場所には、たくさん水があるのだと分かった。 ・3つの材料が重なってできているろ過器で、こんなに泥水がきれいになったことにびっくりした。 ・家族に今日のことをいっぱい話したい。 2 先生方の感想、要望等 ・今までに学習してきたことを振り返りながら、自分たちで五感を使って活動することがとても良い経験になった。 ・理科や社会の学習も踏まえて取り組むことができ、子どもたちがとても意欲的に取り組んでいる様子があった。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：30-2】

授 業 名	総合的な活動の時間「水について考える」		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4年2組	参加人数	19人
担当者	神原 彩那	記入者	神原 彩那
実施日（期間）	令和6年12月12日（木）		
講師名・実施概要	【番号：30-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	【講義編】：「自然の水の中の循環は、どうなっているのか？」  子どもたちは、総合的な学習の時間「かがやきプロジェクト」と称して、水に関わる活動を行ってきた。浄水場で作られる水道水を知り、地域探検を通して、湧き水があることを発見したり、20年かけて作られる天然水があったりすることを学んだ子どもたちは、実際に、自分たちでも飲める水は作れるのかという興味関心や疑問を持ち、授業に取り組んだ。 既存の学習を振り返り、水蒸気や土の中を通して、地上に出てくる水の事や、自然に関することについて学び、子どもたちは、納得したり、図に表したりして、講義を聞いていた。 子どもたちは「飲める水」と「飲めない水」を判断する条件を聞き、水の中にも様々な水があることを理解していた。 さらに、飲める水にするために、何を除かないといけないのかを学び、ろ過体験でどのくらい水がきれいになるのかについて、興味を深めていた。 講義の中で、「全ては学びに」「メモをとる」「協創する」という3つの大事なことを聞くと、子どもたちは、さらに自分でこの後行うろ過体験を楽しみにしている様子が随所にあった。		

【体験編】：「飲み水を作ってみよう」

休憩の時間には、泥水を観察し、「この水が本当に飲めるようになるのかな?」「このペットボトルで本当にきれいになるの?」などと、疑問を持っている様子があったが、炭や小石といった日常にあるものを使うと聞くと、さらに本当に??と疑問を持っている様子。

早く自分で取り組んでみたいという気持ちを高めていた。

ろか装置に、講師の方から手順や方法を聞きながら、ペアで協力して、きれいな水を抽出しようと体験開始。



「棒でしっかり土をぎゅうぎゅうにしてね。」という助言に、子どもたちは、

「このくらい固くするの?」

「もっとゆるい方がいいのかな?」

などと、どのくらいの固さが良いのか試行錯誤している様子もあったが、自然と会話が生まれ、講師の先生方にも積極的に質問しながら、ろ過装置を作ることができた。

「本当に、この茶色の水が、きれいな水になるの?」「めっちゃ茶色!!」と、いいながらろ過器に濁った泥水を入れていく子どもたち。濁った泥水は、なかなか下の待ち受けているペットボトルに入ってこない様子だったが、最初の一滴に感動し、どんどん水が滴り、たまっていく水の色が透き通っている色になっていることに驚きを隠せない様子。

「めっちゃ透明になってる!!」

「きれいな水になってる!!」などと、自分たちのペットボトルの装置を通して、きれいになってくる水を知ることができていた。



子どもたちは振り返りを書き、地元の水の豊かさを感じながら、これからも水を大切にしていきたいという今度につながるすることができた。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ろ過の知識を知っていることで、災害時も役に立つことが分かった。
- ・汚れた水をきれいにする方法が分かり、体験すると思っていた以上にきれいになって、びっくりした。今日学んだことを生かしたいと思った。
- ・ごみや微生物は、何かしらをしたら取り除くことができると思っていたけど、有害物質は取り除けないと思っていたので、取り除くことができると知って驚きました。

	・自然の循環の中で水も生まれていることが、改めて分かりました。 2 先生方の感想、要望等 ・今までに学習してきたことを振り返りながら、自分たちで五感を使って活動することがとても良い経験になった。 ・理科や社会の学習も踏まえて取り組むことができ、子どもたちがとても意欲的に取り組んでいる様子があった。
--	---

令和6年度 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム一覧



令和6年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧

分類		No	講座名称	講師
校内	きく・みる	1	気候変動とSDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
		4	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課
		5	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		6	生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学（まなぶ）会
		7	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
		8	学校の地下はどうなってる？ 知ろう触ろう『地下水・井戸・地震』	株式会社サクセン
	たべる	9	ぬかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		10	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ
		11	炭用石窯でピザ焼体験	NPO法人石窯スマイル研究会
	つくる	12	木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ
		13	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）	プラチナサポーターズ松本
		14	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		15	自然素材で簡単工作	NPO法人わおん
	実験する	16	木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
		17	あかりのエコ教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		18	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		19	小水力発電機等による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		20	アウトドアから学ぶ防災・災害対策	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		21	手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		22	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		23	校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！	松本ホテル学（まなぶ）会
校外	公園等	24	身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ
	川	25	水辺の観察会	NPO法人えんどっこ
		26	水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所
		27	水辺の生き物観察から考えよう！	松本ホテル学（まなぶ）会
		28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		29	梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		30	水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス
	山	31	地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
		32	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？	株式会社柳沢林業
	特定の場所・その他	33	謎解きウォーク体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		34	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
		35	石窯でピザづくり・ピザ焼きたいけん	NPO法人石窯スマイル研究会
校内外両方可		36	いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
		37	プランター菜園講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
		38	体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校がらす
		39	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし
		40	火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし
		41	自然体感プログラム	NPO法人わおん
		42	外あそびの達人講座	NPO法人わおん
		43	キャンプ・野外生活 基礎	すえなみブッシュクラフトスクール長野
校内	きく・みる	44	セブン-イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～	セブン-イレブン・ジャパン
		45	気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】	自然エネルギーネットまつもと
		46	デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、 地球温暖化問題とゼロカーボン【ゼロカーボン学習プログラム】	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
	つくる	47	つくってみよう！私たちのまわりの温暖化対策マップ 【ゼロカーボン学習プログラム】	NPO法人地域づくり工房

環境学習プログラム 教科・領域との関連について

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域					
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合
校内	きく・みる	1 気候変動とSDGs	○	○				○
		2 ツキノワグマの生態を知ろう					○	○
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	○	○				○
		4 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	○					○
		5 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	○	○				○
		6 生きものから学ぶ環境学習	○	○				○
		7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○	○
		8 学校の地下はどうなってる？ 知ろう触ろう『地下水・井戸・地震』	○	○				○
	たべる	9 むかんどご飯炊き体験	○			○		○
		10 木の授業とバウムクーヘン作り	○					○
		11 炭用石窯でピザ焼体験				○		○
	つくる	12 木材の活用法（小物づくり）	○		○			○
		13 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）				○		○
		14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり			○			○
		15 自然素材で簡単工作			○		○	○
	実験する	16 木質バイオマスエネルギー利用方法		○				○
		17 あかりのエコ教室		○				○
		18 ワクワク下水道教室		○				○
		19 小水力発電機等による自然エネルギー体験		○				○
		20 アウトドアから学ぶ防災・災害対策		○		○	○	○
		21 手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	○	○				○
		22 着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学		○		○	○	○
		23 校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！	○	○				○
校外	公園等	24 身近な自然観察		○			○	○
	川	25 水辺の観察会	○	○			○	○
		26 水辺の生物の観察会	○	○			○	○
		27 水辺の生き物観察から考えよう！		○			○	○
		28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー					○	○
		29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング					○	○
		30 水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）					○	○
	山	31 地元の山が100倍好きになる登山学					○	○
	特定の場 所・その他	32 里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？					○	○
		33 謎解きウォーク体験	○			○		○
		34 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	○				○	○
		35 石窯でピザづくり・ピザ焼きたいけん				○		○
校内外両方で可		36 いきもの探しと観察及び環境教育講座		○			○	○
		37 プランター菜園講座					○	○
		38 体験！体感！ 外あそび！！	○	○			○	○
		39 体験して学ぶ「自然や環境」について	○	○	○		○	○
		40 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	○			○	○	○
		41 自然体感プログラム		○			○	○
		42 外あそびの達人講座					○	○
		43 キャンプ・野外生活 基礎					○	○
校内	きく・みる	44 セブン・イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～	○	○		○	○	○
		45 気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○
		46 デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、地球温暖化問題 とゼロカーボン【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○
	つくる	47 つくってみよう！私たちのまわりの温暖化対策マップ 【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○

● 講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。

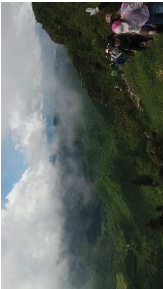
【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動とSDGs	(講座 No. 1)
支援事業内容	気候変動とSDGsを学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらよいのか SDGsとは何か、その本質はどのようなことなのか 	
対象	小学4年生以上	
時間数	1時間程度	
講師人数	子どもの人数に関係なく講師1人	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし	
学校側で必要な準備	プロジェクターとスクリーン (なければ講師が持参します)	
講師からの持込資料等	説明用教材	
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。	
開催実績	2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス	
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.16の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160 (留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう	(講座 No. 2)
支援事業内容	講師を派遣し学校近隣 (校内を含む) で行う学習支援 パワーポイントをを用いた講義 	
対象	小学1年生から中学3年生まで	
時間数	45～90分程度	
講師人数	子ども100人に講師2人	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし	
学校側で必要な準備	・スクリーン ・プロジェクター	
講師からの持込資料等	・パソコン ・トランクキット (クマの毛皮、頭骨等)、クマの紙芝居	
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、25年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。	
開催実績	平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成30年度 田川小学校 山の動物 会田中学校 ツキノワグマってどんな動物？ 令和2年度 大野川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 令和3年度 安曇小中学校 クマ授業 令和5年度 安曇小学校 クマ授業	
その他		
講師連絡先	【団体名】NP0法人 信州ツキノワグマ研究会 【担当者名】浜口あかり 【代表者名】岸元良輔 【TEL】0263-36-1884 (不在が多いため、他の方法でご連絡ください) 【FAX】0263-36-1884 【Eメール】kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 【HP】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。（講座 No. 3）
支援事業内容	学校登山の事前学習とあわせて、信州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の効用、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング（能動的な学習）を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域の魅力作りパワーの源になります。そして、SDGs（持続可能な開発目標）を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先生活方にも現在の登山のスタンダードを知っていただきたい、きつい訓練登山的な考え方からの解放を目指します。  
対象	小学4年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	45分程度
講師人数	1学年に講師1人（学年単位で実施できます。）
費用	① 講師謝礼→【手数料】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限分毎） ② コース・学年全体に必要なもの→【消耗品費】 ・なし ③ 個人で必要なもの→【学年費等】 ・なし ④ 交通費 37円/km（市旅費規程）×（学校から住所までの距離） ハワーポイントの使用できると、軽い運動ができるスペース
学校側に必要な準備 講師からの 持込資材等	パソコン 2005年に設立された、長野県の上野原の山岳地帯を主な活動場所とするNP0法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松本県吾他、学校登山サポータープログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びを沢山知ってもらえば、登山や野外活動は大人になっても続けられることができます。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。
開催実績	2012 14年度 会田中 2022 年 源池小 2023 年 源池小、並柳小 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。 学校登山実施の申し込みがなくてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。
その他	
講師 連絡先	【団体名】信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 【担当者名】松本県吾他【代表者名】植松晃岳 【TEL】0263-34-1543 【FAX】0263-55-6194 【メール】info@amatani.com 【HP】http://www.yamatami.com 【住所】〒390-0304 松本市大村1082-4
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	まつもと自然環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 4)
支援事業内容	私たちの暮らす松本市には、どんな「環境」があるのでしょうか。また、その「環境」をよくするために何ができるでしょうか。 松本市環境基本計画に基づき、スライドを用いて一緒に考える講座を行います。 学習内容は、以下の1～5の分野の中から、ご要望に応じて組み合わせても可能です。 ＜環境の「5つの柱」＞ 1 地球にやさしく ゼロカーボンって何？地球温暖化を防ぐために、一人ひとりができることについて学びます。 2 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取り組みや、ごみの現状、食品ロスなどについて学びます。 3 安心・安全な暮らし 市内の騒音や水質などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響を与えるのかについて学びます。 4 自然の恵み 松本市にはどんな自然環境があるのでしょうか。生きものの特徴や課題について、わかりやすく学びます。 5 心地よいまち 身近にある緑や心地よい環境、松本らしい街なみを守るための取り組みについて学びます。 小学4年生以上 1時限 講師1～2名 ①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体で必要なもの ・なし ③児童個人で必要なもの ・なし 電源の確保 モニター（必須ではありません。） プロジェクター、スクリーン、PC、配布資料等 講師について 開催実績 R2年度 二子小4学年、R5年度 源池小4学年、安曇小6学年 その他
講師 連絡先	【団体名】松本市環境・地域エネルギー課 【担当者名】環境政策担当 【TEL】34-3268（平日8時30分～17時15分のみ対応可） 【FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No. 5)
支援事業内容	気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、異常気象と自然災害、ごみ問題、省エネルギー・自然エネルギー、SDGs 等について学べます。  
対象	小学校高学年から中学生まで
時間数	要相談
講師人数	1クラス～1学年に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン (※体育館、講堂などで実施する場合はマイク)
講師からの持込資料等	パソコン、教材
講師について	気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境審議会委員、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。
開催実績	随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座(エコスクール)内での講習 平成30年度 明善小 令和2年度 山辺小
その他	「竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり(講座No.14)」、「小水力発電機等による自然エネルギー体験(講座No.19)」と同日実施が可能です。(要相談)
講師連絡先	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan kyoioho/kankyokyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	生きものから学ぶ環境学習 (講座 No. 6)
支援事業内容	身近な生き物を含む、いろいろな生き物に見られる不思議、驚き、賢さ、美しさ、面白さ等や、スライドを用いて楽しく分かりやすく説明させて頂きます。それらについて質問をしながら理解を深める中で、人にとって生物多様性や生き物の棲む環境がいかに大切かを学べる講座となっています。なお、くみ入れる内容に関しましてご要望が御座いましたら、ご相談ください。   
対象	アリジゴク観察の例 小学校4年から中学校まで、特別支援学校
時間	45分、または90分程度(生き物観察を含める事も可・講座27参照)
講師人数	子ども人数に関係なく講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン、マイク。講義レジメの印刷配布
講師からの持込資料等	パソコン 生き物観察を含む場合、必要物について要、打ち合わせ
講師について	講師は信州大学で30年以上教鞭をとるとともに、現在も非常勤講師を務めています。各種の講演会での講師経験を持ち、毎年、小学生から大人までを対象に県内外で講演させて頂いています。
開催実績	令和2年度 四賀小学校、等 田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、 令和3年度 四賀小学校、等 波田小学校、 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校、 令和5年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校、 令和5年度 四賀小学校、本郷小学校、源池小学校、筑摩小学校、等
その他	講師は市外の県内、県外で年間10件以上の講演、学習会を行っています。・No.23、27の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】松本ホテル学(まなぶ)会 【担当者名】藤山静雄 【代表者名】藤山静雄 【TEL】0263-46-3275 / 携帯080-3481-3741 【FAX】0263-46-3275 【メール】sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】〒390-0311 松本市水汲25-6
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー (講座 No. 7)
支援事業内容	山&川&水の繋がりが、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 奈良井川バレージョンも完成。奈良井川流域の学校もぜひ活用ください。
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	1時間程度 (内容によって変動有)
講師人数	子ども30人に講師1名(1クラス01学校単位で1講師も可能)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備	スクリーン・プロジェクター
講師からの持込資材等	PC・レスキュー用品など 2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和5年度実施】 安曇小学校5、6年「水殿ダムラフトピクニック」 「大河の一滴スライドショー」 〃 3、4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4、5年「冬の上高地スノーアドベンチャー」 清水小学校2年「薄川リバーアドベンチャー」 源池小学校2、4年、特別支援学級「薄川リバーアドベンチャー」 筑摩小学校2年「薄川遊び」 山辺小学校3年「薄川、川と遊ぼう！」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」 〃 3、4年「ジャワークライミング体験」 1、2年「乗鞍さんぽ」 田川小学校4、5年「犀川下り」 「大河の一滴スライドショー」 明智小学校2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」 梓川小4、6年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4年「水殿ダムラフトピクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 ・No.28、29、30、31の講座も提供しています。
開催実績	【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【©メール】mine@litttlepeaks.jp 【HP】https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	学校の地下はどうなってる？ 知ろう触ろう『地下水・井戸・地震』 (講座 No. 8)
支援事業内容	私たちの足元を流れる地下水。普段は意識しませんが、水道や農業・工業など身近なところで利用されています。そんな地下水や地下の地層について、模型や実物を通して触れ合うことができます。 また、地震時の液化化現象の実験や、災害に強い手押しポンプ体験を通して、地震と地下水の関係についても学べる講座です。
対象	小4から中3まで
時間	90分程度
講師人数	子ども35人に講師2人 補佐2人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	理科室などの外へ出やすい教室の確保・スクリーンまたはモニター
講師からの持込資材等	PC、地質サンプル、地下水模型、液化化実験装置、手押しポンプ
講師について	1950年に設立し、70年以上にわたって長野県で井戸掘削を行ってきた会社です。 技術士：3名 地質調査技士：14名 1級さく井技能士：19人在籍
開催実績	令和4年度 安曇野市豊科北小学校 地下水講座 令和5年度 安曇野市豊科北小学校、旭町小学校 地下水講座
その他	プログラム実施の2カ月前までにお申し込みのご連絡をお願いします。
講師連絡先	【団体名】株式会社サクセン 【担当者名】飯特 龍司 【TEL】0263-29-2810 (8時～17時なら連絡可能) 【FAX】0263-25-2215 【メール】educ@sakusen.co.jp 【HP】https://sakusen.co.jp 【住所】〒390-0833 松本市双葉6番1号
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No. 9)
支援事業内容	昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、塩むすびを作って美味しいお米を味わってもらいます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜です。 炊き上がりまでの時間に、有機米農家によるお米の話や紙芝居などで、お米と水の大切さやぬかくどについて学びます。
対象	小学校3年生以上中学3年生まで、特別支援学級
時間数	2時間半程度
講師人数	子ども30人に講師4人程度
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・安曇野産無農薬米 6俵 (おむすび約150個) で6750円 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	ぬか、釜、クッキングシート、紙芝居、その他の備品
講師について	1ターナーと地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2021年度から子ども達の探究学習支援「ふるさと探究」を実施。2022年度長野県元気づくり支援金活用優良事業として具知事表彰受賞。
開催実績	二子小3年、菅野小3年、堀金小3年、会田中1年
その他	・No.33の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】望月 彰 【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【メール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumi-no-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 10)
支援事業内容	木の成長を体験的に学べる学習です。 木が成長する際、1年に1つの円ができ、それが年十年何百年と続くことで年輪ができます。 木の成長に思いを馳せながら、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。また、竹や間伐材などを活用する学習も可能です。
対象	小3から中3まで、特別支援学級
時間数	120分程度
講師人数	子ども15人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 (10kg) 約1,000円/児童15人分 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食材 約4,000円/児童15人分 (卵(大)40個、バター600g、ホットケーキミックス1kg、小麦粉500g 砂糖600g)
学校側で必要な準備	長机1台/児童15人分
講師からの持込資材等	レシビ等の資材、竹の棒などの資材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。
開催実績	令和元年度 梓川小、二子小、四賀小、菅野小 令和2年度 菅野小、四賀小、中山小 令和3年度 四賀小、明善小、菅野小、中山小、梓川小、開明小 令和4年度 四賀小、中山小、梓川小、芝沢小 令和5年度 四賀小、中山小、梓川小、二子小、旭町小
その他	・No.12の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】寿さと山くらぶ 【代表者名】白川良昌 【担当者名】鈴木喜一郎 【TEL】0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【住所】〒399-0022 松本市松原9-17
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	炭用石窯でピザ焼体験 (講座 No. 11)	
支援事業内容	炭を使って小型移動式石窯を加熱しながら再生エネルギーや蓄熱エネルギーについて学び加熱した石窯で生地を伸ばしトッピングしながらピザを焼き試食する講座です。  	
対象	小学1年生から中学3年生 「特別支援学級」	
時間	90分程度	
講師人数	講師最低3人 (教諭含めた参加者は10人程度)	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 約500円/1回 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・ピザ材料 100円/1人 (ピザ焼き枚数は参加人員に応じ5枚から8枚)	
学校側で必要な準備	・講座実施場所 火を扱えるところ ・参加者の食物アレルギーの有無事前確認 ・必要に応じた飲み物	
講師からの持込資材等	石窯 炭 設置台 ピザ材料 その他備品	
講師について	地元間伐材や炭を利用して再生エネルギーを活用し環境問題への寄与を図り、また石窯体験を通じ青少年の健全育成へ寄与する団体です。会員数は11名です。	
開催実績	令和3,4,5年度 明善小学校 特別支援学級	
その他	プログラム実施の1ヵ月前には申込の連絡をしてください。 通年プログラム実施は可能ですが12月中旬から2月中旬は未実施雨天、強風は実施が不可能な場合があるので直前での実施日変更の可能性あり ・No.35の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】NP0法人石窯スマイル研究会 【担当者名】桐原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【メール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1	
申込み方法	①申込書の内容を上記EメールまたはFAXに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - つくる】

講座名称	木材の活用法 (小物づくり) (講座 No. 12)	
支援事業内容	間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います。 (応相談)  	
対象	小学4年生から中学3年生まで	
時間数	120分程度	
講師人数	子ども6～8人に講師1人	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・木工材料費1人あたり約100円 (事前の相談で決定)	
学校側で必要な準備	図工室、木工室等の会場 (電源がある部屋)	
講師からの持込資材等	木工に必要な木材、機材一式	
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。	
開催実績	令和元年度 梓川小、四賀小、菅野小、二子小 令和2年度 明善小 (6年・特支) 令和3年度 源池小、寿小、菅野中 令和4年度 二子小、梓川小、寿小 令和5年度 芝沢小、明善小、寿小 令和6年度 梓川小、明善小	
その他	・事前学習として、木の学習や素材探し (小物の飾りとなるドングリ、押し花等) の対応も可能です。 ・No.10の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】寿さと山くらぶ 【担当者名】鈴木喜一郎 【TEL】0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】0263-57-5460 【住所】〒399-0022 松本市松原 9-17	
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - つくる】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）（講座 No. 13）
支援事業内容	マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。 
対象	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）
時間数	2時間程度
講師人数	子ども10人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	・材料（①40cm四方の布、②約40cmのひも） ・裁縫道具、アイロン
講師からの持込資材等	・マイ箸袋のサンプル
講師について	市内在のボランティアが作成を指導します。
開催実績	平成27年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成28年度 鎌田小学校 平成29年度 信州大学教育学部附属松本小学校
その他	
講師連絡先	【団体名】 プラチナサポーターズ松本 【担当者名】 本木 敦子 【代表者名】 白井 光裕 【TEL】 0263-34-3264 （8:30～17:15） 【©FAX】 0263-88-2988 【メール】 motoki.atsuko@city.matsumoto.lg.jp 【住所】 〒390-0874 松本市大手3-8-13 2F
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり（講座 No. 14）
支援事業内容	竹材を加工・装飾したキャンドルフード、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）にて展示・点灯します。竹資源の利活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学べます。 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学校
時間数	2～3時間程度
講師人数	子ども5～6人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	工作室の確保（※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保）
講師からの持込資材等	竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ろう、ガスコンロ等
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト（6月、12月）」、「打ち水大作戦（8月）」等を行っています。
開催実績	平成29年度 鎌田小、市民向けワークショップ 平成30年度 明善小、四賀小（特支）、市民向けワークショップ 令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ2回 令和2年度 菅野小 令和3年度 梓川小 令和4年度 梓川小、明善小
その他	・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ（講座No.5）」と同日実施が可能です。（要相談） ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.5、19の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 【担当者名】 鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】 0263-57-5460/080-5109-9715 【©FAX】 0263-57-5460 【メール】 — 【HP】 https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan_kyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】 —
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	自然素材で簡単工作	(講座 No. 15)
支援事業内容	木の輪切りや木の実を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など道具が安全に使えるようになる講座です。	
	 	
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級	
時間数	45分～90分程度	
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) → ③7円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2往復 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・工作の材料費 100～200円程度(内容による) 工作が実施可能な場所の確保	
学校側で必要な準備	講師からの持込資材等	
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。 平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～5年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」	
その他	・No.41、42の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】 NP0法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】 0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-87-4024 【メール】 waon@powaon.com 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原685	
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。 ②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。 ④当日を迎える。	

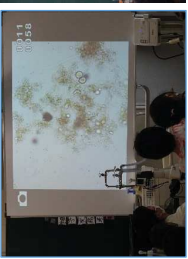
【分類：校内 - 実験する】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法	(講座 No. 16)
支援事業内容	木質バイオマス活用の重要性和活用方法を学びます。 ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取りだす体験をします。	
		
対象	小学5年生以上	
時間数	1.5時間～3時間程度	
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要(体験型の場合は10人に1人)	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・(炊飯を伴う場合) ポリ袋 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・(炊飯を伴う場合) 米代	
学校側で必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保	
講師からの持込資材等	体験用の機材一式	
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。	
開催実績	2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス	
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.1の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】 自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】 平島安人 【代表者名】 平島安人 【TEL】 0266-52-0160 (留守電) 【FAX】 0266-52-0160 【メール】 nematsu@gmail.com 【HP】 http://www.enet-matsumoto.net 【住所】 〒392-0023 諏訪市小和田南9-3	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。 ④当日を迎える。	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	あかりのエコ教室	(講座 No. 17)
支援事業内容	3種類のランプ（白熱灯・蛍光灯・LED）を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや省エネについて学べる講座です。  	
対象	小学校4年生から6年生まで	
時間数	1時限（45分）	
講師人数	子ども40人に講師3名	
費用	①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし	
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター	
講師からの持込資材等	手回し発電機・電力測定器（4～5人で1台）	
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 2023年度環境省グッドライフアワード（実行委員会特別賞） 平成27年 波田小学校6年・平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年 令和5年 梓川小学校5年	
開催実績		
その他	・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。	
講師連絡先	【団体名】 パナソニック（株）エレクトロニクス社 松本電材営業所 【代表者名】 増田 真一 【担当者名】 丸山 貴世 【TEL】 0263-27-4501 【FAX】 0263-27-4509 【Eメール】 maruyama.kiyo@jp.panasonic.com 【HP】 https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】 〒390-0841 松本市清2-9-45 長野パナソニックビル2階 ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	
申込み方法		

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	フクフク下水道教室	(講座 No. 18)
支援事業内容	下水道の仕組みについて学べる講座です。 (内容) 1 浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察  	
対象	小学4年生	
時間	1時限（1クラス毎）	
講師人数	講師2～3名	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし	
学校側で必要な準備	教室の確保（テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等） 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保 ペットボトル（500ml キヤップ付き 1人2本）	
講師からの持込資材等	顕微鏡カメラセット、パソコン等	
講師について	松本市上下水道局 下水道課 宮渕及び両島浄化センター職員	
開催実績	令和3年度 松本市内小学校2校（すべて小学4年生） 令和4年度 松本市内小学校4校 令和5年度 松本市内小学校3校	
その他	開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。（20分程度）5～7月に社会科見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合があります。	
講師連絡先	【団体名】 松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】 飯島志保 【TEL】 27-4465（平日8時30分～17時15分） 【FAX】 29-0933 【Eメール】 gesui@city.matsumoto.lg.jp 【住所】 〒390-0848 松本市両島3-1（両島浄化センター）	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No. 19)
支援事業内容	可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電自転車（試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。） 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	60 分程度
講師人数	子ども 30 人に講師 1 人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	校内の流水（落差）がある箇所
講師からの持込資材等	可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車
講師について	平成 17 年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成 13 団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト（6 月、12 月）」、「打ち水大作戦（8 月）」等を行っています。 平成 18 年度～ 松本市消費生活展への出展（ソーラーカー、発電自転車の試乗体験） 令和 3 年度 安曇小 ・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ（講座 No.5）」と同日実施が可能です。（要相談） ・No.5、14 の講座も提供しています。
開催実績	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【©FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan-kyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—
申込み方法	①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	アウトドアから学ぶ防災・災害対策 (講座 No. 20)
支援事業内容	何を失った人らは生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、非常時に身近な物を使って確保する考え方を学ぶ。その中から一番大切な体温保持する方法や火を手に入れる体験をする講座です。 
対象	小 4 から中 3 まで、特別支援学級
時間	2 時限程度
講師人数	1 クラスに講師 1 人（2 人以上いれば尚良い）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・1 グループ（5 人以下）で、新聞紙、ビニール袋、カップが必要。着火の道具約 1,000 円/セット ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・特になし 火を扱うので理科室が適当かと思えます。 体温保持に関する資料（1 人 1 枚）の印刷 着火の道具などを必要数 大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
学校側で必要な準備	火を扱うので理科室が適当かと思えます。 体温保持に関する資料（1 人 1 枚）の印刷
講師からの持込資材等	着火の道具などを必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成 30 年度、31 年度 鎌田児童センター 平成 30 年度 本郷図書館、公民館講座 平成 30 年度 塩尻市広丘小 PTA 講演 令和 5 年度 旭町小
その他	・体験部分は幾つかあるので要相談。飲み水の確保に変更も可能。 ・No.21、22、43 の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】すえなみブッシュクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】中信地区環境教育ネットワーク（ee ネット）事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【©メール】ecoconet@comine.nagano.jp
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打ち合わせをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	手作りする過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ） （講座 No. 2 1）	
支援事業内容	飲み水とは？をテーマに、飲む水と飲めない水の違い、地球規模の水の循環、森の役割について解説します。その後、ペットボトルで簡易ろ過器を作り、泥水を濾過する実験をします。  	
対象	小4から中3まで、特別支援学級	
時間	2 時間程度	
講師人数	1 クラスに講師 1 人（2 人以上いれば尚良い）	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時間毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1 グループ（5 人ほど）に 1.5ℓ ペットボトル 2 本ずつ、麵棒 1 本ずつ。クラスに燗炭 1 袋（50ℓ、1,500 円）、砂 1 袋（20kg 500 円）、砂利 1 袋（10kg 500 円）が必要。 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし	
学校側で必要な準備	水を扱うので理科室が最適です。時間を短縮するため、事前にペットボトルの加工をお願いします。泥水を入れるバケツや水を汲むための容器、シャベル。	
講師からの持込資材等		
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。	
開催実績	平成 30 年度、31 年度 鎌田児童センター 令和 2 年度 鎌田小 令和 5 年度 梓川小	
その他	・No. 20、22、43 の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】すえなみブッシュクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク（ee ネット）事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【メール】ecoconet@gominetnagano.jp	
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学 （講座 No. 2 2）	
支援事業内容	燃焼に必要な（可燃物、熱、酸素）の話と、様々な着火方法の仕組みを解説します。その後、実際にマッチ、ライター、火打ち石、虫眼鏡、弓きり式火おこしを使った着火体験をする講座です。  	
対象	小4から中3まで、特別支援学級	
時間	2 時間程度	
講師人数	1 クラスに講師 1 人（2 人以上いれば尚良い）	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時間毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1 グループ（4 人以下）で着火道具 1 セット/500 円。弓きり式火おこし 1,000 円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし	
学校側で必要な準備	火を扱うので理科室が良いと思います。	
講師からの持込資材等	着火道具を必要数	
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。	
開催実績	平成 30 年度、31 年度 鎌田児童センター 平成 30 年度 本郷図書館、公民館講座 平成 30 年度 芳川小 令和 4 年度 島立小	
その他	・着火体験の代わりに焚火（片付けまで）体験もできます。 ・No. 20、21、43 の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】すえなみブッシュクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク（ee ネット）事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【メール】ecoconet@gominetnagano.jp	
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	校庭の生き物(小動物)を探し、観察、実験してみよう！ (講座 No. 23)
支援事業内容	校庭の中の生き物を探し観察して生き物や環境について学ぶ講座です。 1. 教室で講座の内容を説明し、次に生き物観察についての解説をします。 2. 生きもの採集：校内には意外とたくさんお昆虫などがいます。これらをみんなで探し、採集し、教室に持ちかえります。 3. 観察・実験：見つけた生き物を観察・実験します。動き方、習性、面白い点？いやな点？不思議な点？等、感じたこと、考えた事を記録し、描いたり、語ったりしてもらいます。これらを通して、生き物の嫌いな子、興味を持てない子にも関心がもてるように指導します。 4. 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演をします（講演時間：要望で20—60分の範囲）。子どもたちに感想を述べてもらい、最後には捕まえた生き物は校庭に返します。 写真左：捕まえた生き物の観察 写真右：捕まえた虫の顕微鏡観察。 
対象	小学校中高学年、中学生（生き物観察会は低学年も可）
時間	1 45分 2 コマ（通常 90分）
講師人数	1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名（10人当たり1名） 2 講師 1名 補助者2名を予定
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円（授業1時限毎、通常2時間）計10,000円 補助者1名につき 2000円 計2000—4000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし
学校側で必要な準備	1 不要 2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。（可能なら、バット、ピンセット、虫メガネ 捕虫網と虫かご）
講師からの持込資材等	顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等、捕虫網、虫かご
講師について	主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。
開催実績	子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年20回程度開催しています。須坂市内の小学校6年生を対象にほぼ毎年実施しています。
その他	令和2年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等 令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等 令和5年度 四賀小学校 本郷小学校 源池小学校 筑摩小学校 等
講師連絡先	【団体名】松本ホテル学（まなぶ）会 【担当者名】藤山 静雄 又は 横山裕己 【代表者名】藤山 静雄 【TEL】 0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 横山 090-1736-6771 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】 https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】 〒390 -0311 松本市水汲 25-6 【団体名】
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外 - 公園等】

講座名称	身近な自然観察 (講座 No. 24)
支援事業内容	自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 四季折々を楽しみながら、身近な場所の校庭や水辺（小川）、まちなか等で自然観察のガイドを行います。 また、外来植物（外来生物）のお話をすることもできます。 必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。 
対象	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定 特別支援学級（要相談）
時間数	1 講座で2～2.5時間程度
講師人数	1 講座も15人に対して講師1人が理想的（先生と協力して1クラス程度まで）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（1講座） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	
講師について	1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。
開催実績	平成27年度～令和5年度 今井小学校 学習公園にて、身近な自然観察
その他	上高地パークボランティアとして安曇小中学校に対応、松本盲学校、養護学校のガイド、市内地区公民館での自然観察ガイド等、環境・地域エネルギー課エコスクール、福祉ひろば自然観察ガイド
講師連絡先	【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子 【担当者名】村上さよ子 【TEL】 0263-26-1573 / 090-7204-8140（いつでも連絡可能） 【FAX】 0263-26-1573 【Eメール】 stfujia@shinshu-u.ac.jp 【住所】 〒390-0847 松本市笹部 3-11-3
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 2 5)
支援事業内容	○水辺の生物観察の指導を行います。 ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透明度や COD などの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。
対象	小学校 1 年生～6 年生 (学年に合わせた授業を行います。)
時間数	1～1.5 時間
講師人数	子ども 20 人に講師 1 名
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 回分毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	水辺観察会の手引書 (カラーコピーでも可) バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きものの観察会
その他	
講師 連絡先	【団体名】 NP0 法人 えんどっこ 【担当者名】 大月健二 【TEL】 090-4463-5887 【HP】 http://endotuko.web.fc2.com
申込み方法	①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当 (FAX : 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 2 6)
支援事業内容	市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。 【これまでに実施した学習会のテーマ】 ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオロギと昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかわり
対象	全学年 (学年に合わせた授業を行います)
時間数	3 時間程度
講師人数	子ども 10 人に講師 1 人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費 開催内容による (事前の相談で決定) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・材料費 開催内容による (事前の相談で決定) ・事前講義 (安全等)、網、内面が白色のプラスチック皿、ビンセット、虫めがね (10～20 倍)、バケツ、ノート (スケッチ用紙)、面用紙、色鉛筆
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	網類、バット、ビンセット 身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考え、今後の川の姿に関して提言する団体です。 ・平成 27、28、29、30、令和元年度 田川小学校 ・平成 28 年度 信州大学教育学部附属松本小学校 年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 ・令和元年度 安曇小学校、島内小学校 ・令和 3 年度 安曇小学校、中山小学校、田川小学校 ・令和 4 年度 安曇小学校、鎌田小学校 ・令和 5 年度 源池小学校 (松本はたる学 (まなぶ) 会と主催)
開催実績	
その他	
講師 連絡先	【団体名】 川の自然と文化研究所 【担当者名】 山本雅道 【TEL】 090-5413-7161 【FAX】 0263-36-2219 【Eメール】 bassya@shinshu-u.ac.jp
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールにも送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX : 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の生き物観察から考えよう！ (講座 No. 2.7)
支援事業内容	身近な川の環境に、どんな生き物がいるかを探し、見つけたものを観察します。身近なところに、予想外にいろいろな生き物がいることが分かるだけでなく、見つけた生き物についていろいろな疑問がわきます。それらについて考え、子どもの関心に寄り添い、彼らの発する疑問や感想について共に考え、答えを見つけて子どもたちの学びの楽しさを応援します。 1 自然に関心をもつ子どもが育つよう積極的に支援します。生き物の採集と観察（構内および川も含め身近な自然の場所。学内ピオトープでも可）。観察では見つけた生き物について何を感じたか？面白い点は？いやな点は？等、感じたこと、考えたことについて語ってもらいます。これらを通して、生き物に興味を持てなかった子どもたちにも関心がもてるよう指導します。 2 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演を行います（時間は要望に応じ 20～60 分の範囲）。最後に、子どもたちに感想を述べてもらいます。
対象	小学校中高学年、中学生（生き物観察会は低学年も可）
時間数	1 45 分 2 コマ（通常 90 分） 2 45 分
講師人数	1 1 回に対して講師 1 人必要、補助者 1～2 名（10 人当たり 1 名） 2 講師 1 名 補助者 2 名を予定
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎、通常 2 時間）計 10,000 円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし
学校側で必要な準備	1 不要 2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。（可能なら、バット、ピンセット、虫メガネ 実体顕微鏡）
講師からの持込資材等	顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等
講師について	主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。 子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年 20 回程度開催しています。
開催実績	令和 2 年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等 令和 3 年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和 4 年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等 令和 5 年度 四賀小学校、本郷小学校、源池小学校、筑摩小学校 等
その他	・ No. 6、23 の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 松本ホテル学（まなぶ）会 【担当者名】 藤山 静雄 又は 横山 裕己 【代表者名】 藤山 静雄 【TEL】 0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 横山 090-1736-6771 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfujiwa@shinshu-u.ac.jp 【HP】 https://www.facebook.com/natsumoto.hotaru/ 【住所】 〒390-0031 松本市水波 25-6
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

講座名称	地元の川大好き！リバーアドベンチャー (講座 No. 2.8)
支援事業内容	地元で流れる川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！どんな川、どの川でも出張します！ 川は山と海をつなぐ血管です。日本人の川離れを食い止め美しい川を復活させましょう！
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）
時間数	3 時間程度（内容・河川によって変動有）
講師人数	子ども 10 人に講師 1 名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料 ¥200 / 参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金 ¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）
学校側で必要な準備	プロジェクト・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014 年 12 月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬 365 日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	【令和 5 年度実施】 安曇小学校 5、6 年「水殿ダムラフトビクニック」 〃 3、4 年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4、5 年「冬の上高地スノーアドベンチャー」 清水小学校 2 年「薄川リバーアドベンチャー」 源池小学校 2、4 年、特別支援学級「薄川リバーアドベンチャー」 筑摩小学校 2 年「薄川遊び」 山辺小学校 3 年「薄川、川と遊ぼう！」 大野小学校 1、2、3 年「スノーシュー体験」 〃 3、4 年「ジャワークライミング体験」 1、2 年「乗鞍さんぽ」 田川小学校 4、5 年「犀川下り」 「大河の一滴スライドショー」 開智小学校 2 年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校 3 年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」 梓川小 4、6 年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4 年「水殿ダムラフトビクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 〃 梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！ ・ No. 7、29、31 の講座も提供しています。
その他	
講師連絡先	【団体名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰 邦良 【担当者名】 小峰 邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7 〇用紙裏の内容を上記 E メールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。
申込み方法	

講座名称	梓川&奈良井川&犀川ラフティング (講座 No.29)
支援事業内容	川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 川からの眺めは、流域の人々の生活を現します。仲間と共にパドルをこぎ、ゴールを目指す。より地元の川を知り、身近な存在になること間違いなし。
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級（応相談）
時間数	3時間程度（内容によって変動有）
講師人数	子ども7人に講師1名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和5年度実施】 安曇小学校5、6年「水殿ダムラフトピクニック」 〃 3、4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4、5年「冬の上高地スノーアドベンチャー」 清水小学校2年「薄川リバーアドベンチャー」 源池小学校2、4年、特別支援学級「薄川リバーアドベンチャー」 筑摩小学校2年「薄川遊び」 山辺小学校3年「薄川、川と遊ぼう！」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」 〃 3、4年「シャワークライミング体験」 〃 1、2年「乗鞍さんぼ」 田川小学校4、5年「犀川下り」 「大河の一滴スライドショー」 開智小学校2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」 梓川小4、6年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4年「水殿ダムラフトピクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 〃 梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！ ・No.7、28、30、31の講座も提供しています。
開催実績	
その他	
講師連絡先	【団体名】 リトルビークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

講座名称	水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き） (講座 No.30)
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます（ダムの機能も学べます）！！ 自分たちの上流で今何が起き、どう水が活用されているのか？これからのダムとの付き合い方。水害対策など。水遊びしながら本質に迫ります。
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）
時間数	3時間程度（内容によって変動有）
講師人数	子ども7人に講師1名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和5年度実施】 安曇小学校5、6年「水殿ダムラフトピクニック」 〃 3、4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4、5年「冬の上高地スノーアドベンチャー」 清水小学校2年「薄川リバーアドベンチャー」 源池小学校2、4年、特別支援学級「薄川リバーアドベンチャー」 筑摩小学校2年「薄川遊び」 山辺小学校3年「薄川、川と遊ぼう！」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」 〃 3、4年「シャワークライミング体験」 〃 1、2年「乗鞍さんぼ」 田川小学校4、5年「犀川下り」 「大河の一滴スライドショー」 開智小学校2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」 梓川小4、6年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 〃 4年「水殿ダムラフトピクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 〃 紹介したプログラム（No.7、28、29、31）を繋ぐことで山・川・水を源流から河口までアクティビティーで繋ぐことが実現！！是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！
開催実績	
その他	
講師連絡先	【団体名】 リトルビークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

講座名称	地元の山が100倍好きになる登山学 (講座 No. 3 1)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 今期のテーマは、登山から「有限」を学ぶ。 時間も空気も水、食べものも... 意識することで明日からの生活が変わる！
対象	小1 から中3 まで、特別支援学級（応相談）
時間数	半日～一日程度（内容・山域によって変動有）
講師人数	子ども 10 人に講師 1 名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料 ¥2000/参加者（学校保険にて対応可能） ・登山に必要な資機材・屋食・飲み物など ・レスキュー用品・ファーストエイドなど 2014 年 12 月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬 365 日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和 5 年度実施】 安曇小学校 5、6 年「水鏡ダムラフトピクニック」「大河の一滴スライドショー」 〃 3、4 年「梓川リバーアドベンチャー」「大河の一滴スライドショー」 〃 4、5 年「冬の上高地スノーアドベンチャー」 清池小学校 2 年「薄川リバーアドベンチャー」 筑摩小学校 2 年「薄川遊び」 山辺小学校 3 年「薄川、川と遊ぼう！」 大野川小学校 1、2、3 年「スノーシュー体験」 〃 3、4 年「ジャワークライミング体験」 1、2 年「乗鞍さんぽ」 田川小学校 4、5 年「鳳川下り」「大河の一滴スライドショー」 開智小学校 2 年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校 3 年「上高地環境学習」「大河の一滴スライドショー」 梓川小 4、6 年「梓川リバーアドベンチャー」「大河の一滴スライドショー」 〃 4 年「水鏡ダムラフトピクニック」「乗鞍スノーアドベンチャー」 ・乗鞍岳に留まらず、皆様のお近くで暮らす身近な山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが増えております。是非ともご不安な場合はプロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！
その他	・No. 7、28、29、30 の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【メール】 mine@litttlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。 ②同じものを教育文化セクター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

講座名称	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？（講座 No. 3 2）
支援事業内容	山・森・木について、体験を伴って学べる講座です。 ・様々な特色を持ったヤマト牧場周辺の里山の景色を観察しながら、山、森、木、そして林業について学びます。 ・伐採の見学、除伐体験、馬搬の見学、里山の木材を使った木工体験などの活動を通して、山や森、木についての理解を深めます。 ＊実施場所や時間、対象年齢によって内容は異なります。      
対象	小1 から中3 まで、特別支援学級
時間	半日～一日分程度
講師人数	子ども 10 人に講師 1 人 （小学校低学年や特別支援学級の場合は、子ども 6～7 人に講師 1 人）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 時限毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・その都度、内容に応じて異なります。 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・その都度、内容に応じて異なります。 その都度、内容に応じて異なります。
学校側で 必要な準備	その都度、内容に応じて異なります。
講師からの 持込資材等	その都度、内容に応じて異なります。
講師について	
開催実績	令和 4 年度 旭町小学校、安曇小学校、女鳥羽中学校（校内） 令和 5 年度 岡田小学校、長野県立松本盲学校
その他	
講師 連絡先	【団体名】 株式会社柳沢林業 【担当者名】 鹿住朝陽 【TEL】 0263-87-5361 【FAX】 0263-87-5362 【メール】 Kazumi_a@yanagisawa-ringyo.jp 【HP】 http://yanagisawa-ringyo.jp/ 【住所】 〒390-0313 松本市岡田下岡田 774-1
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。 ②同じものを教育文化セクター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

【分類：校外－特定の場所・その他】

講座名称	謎解きウォーク体験 (講座 No. 3 3)
支援事業内容	地域の地形、歴史、文化の謎を解きながらまちを歩き、探究型謎解きウォークラリー体験。1 班 5～6 人+講師で探偵団を編成し、地図を見ながらポイントを探してミッションに記された謎を解く。ウォークラリー終了後に学校に戻り、班毎のワークシヨップでワールドワークの成果をまとめて発表。  
対象	小学校 5 年生以上 中学 3 年生まで、特別支援学校
時間数	3 時間程度
講師人数	生徒 5～6 人に講師 1 人程度
費用	① 講師謝礼 → 【報償費】 ・生徒 1 人につき 1,000 円程度 (応相談) ② クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③ 児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	マップ、ワークシート、解説用フリップその他の備品
講師について	I ターン者と地域住民との交流による新しいふさとづくりを指して 2006 年に設立。2007 年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015 年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2021 年度から子ども達の探究学習支援「ふるさと探究」を実施。2022 年度長野県元気づくり支援金活用優良事業として県知事表彰受賞。
開催実績	梓川小 6 年、豊科東小 3 年、豊科北小 6 年、堀金小 3 年、豊科北中 2 年、豊科北中 3 年、武蔵野中 1 年
その他	・No. 9 の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 NP0 法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】 宮崎 崇徳 【代表者名】 望月 彰 【TEL】 0263-81-1325 (10-17 時なら連絡可能) 【FAX】 0263-81-1280 【メール】 lifeport@nifty.com 【HP】 http://azumino-furusato.com/ 【住所】 〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2
申込み方法	① 申込書の内容を上記 E メール又は FAX 番号に送付する。② 同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③ 学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④ 当日を迎える。

【分類：校外－特定の場所・その他】

講座名称	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について (講座 No. 3 4)
支援事業内容	お米について学べる講座です。 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の糠)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は 5 月～9 月が活動時期です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験等の講座を実施することも可能です。  
対象	小学 1 年生から 中学 3 年生の児童・生徒 (特別支援学校含む)
時間数	90～110 分程度 (2 時間程度) 年間 3 回程度
講師人数	子ども 15 人程度に講師 1 名目安
費用	① 講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 時間毎) + 交通費相当 2,000 円 ② クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代、実習用資材使用代等 (応相談) ③ 児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代、実習用資材使用代等 (応相談)
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	田植え、稲刈りに必要な資材
講師について	いきものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成 25 年度～令和 5 年度 主催事業で実施
その他	・主にグリーンシーズン(4 月から 12 月)の開催で、事前打ち合わせを開催 1 か月前目安にはしたいです。 ・No. 36、37 の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 いきものみっけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】 事務局担当 藤村哲 【代表者名】 会長 降旗 一路 【TEL】 090-2219-2457 (9 時～19 時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【メール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市寿北 9-7-17
申込み方法	① 申込書の内容を上記 E メールに送付する。② 同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③ 学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④ 当日を迎える。

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	石窯でピザづくり・ピザ焼きたいけん (講座 No. 35)
支援事業内容	間伐材を燃やして石窯を加熱しながら環境問題を考え、蓄熱された石窯でピザ生地にとッピング調理しながら再生エネルギーの力、蓄熱エネルギーの原理等を学べる講座です。 
対象	小学1年生から中学3年生・「特別支援学級」
時間数	最長90分程度(参加人員による)
講師人数	講師最低3人必要(教諭も含めた参加者定員は25人程度)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・薪(広葉樹のもの) 約500円/1回 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ピザ材料100円/1人(ピザ焼き枚数は参加人員に応じて5枚から8枚) ・講座実施場所(松本市横田)への往復付き添い ・参加者の食物アレルギーの有無の事前確認 ・必要に応じた飲物
学校側で必要な準備	特になし
講師からの持込資材等	
講師について	平成28年にNPOを設立し、地元の間伐材を利用して再生エネルギーの活用と環境問題への啓発を図り、石窯体験活動を通じて子供の健全育成へ寄与する団体です。会員数11名です。
開催実績	令和2、4年度 岡田小学校あさひ分校 女鳥羽中学校あさひ分校 令和5年度 源池小学校
その他	・プログラム実施の1カ月前には申し込みの連絡をしてください。 ・通年実施可能ですが12月下旬から2月中旬は寒さで未実施。 ・実施場所は松本市横田ですので参加者の移動が必要。 ・雨天・強風では実施不可能なので直前での実施日変更の可能性有 ・No.11の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人石窯スマイル研究会 【代表者名】桐原 真幸 【担当者名】桐原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【Eメール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1 (講座実施場所)
申込み方法	①申込書を上記メールアドレスまたはFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	いぎもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 36)
支援事業内容	身近にある自然と環境について学べる講座です。 生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。 
対象	小1から中3までの児童・生徒(特別支援学級含む)
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども15人に講師1名が目安
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当1,000円程度 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談)
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	自然体験・環境教育学習に必要な資材
講師について	いぎものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがあり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成27年度～30年度 菅野小 令和元年度 安曇小 令和5年度 源池小
その他	・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.34、37の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】いぎものみっけファーム in 松本推進協議会 【代表者名】会長 降旗一路 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	プランター菜園講座 (講座 No. 37)
支援事業内容	年間を通じてお米の肌スカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。 作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。 学校や近隣に outgoing、農業体験の講座を実施することが可能です。
対象	小学1年生から中学3年生まで児童・生徒 (特別支援学級含む)
時間数	90～110分程度 (2時限程度)
講師人数	子ども30人に対し1人以上の講師
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) + 交通費相当1,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・プランター、苗代、肥料代等 (応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・応相談
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがあり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～令和5年度 主催事業で実施
その他	主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。
講師連絡先	【団体名】 いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】 事務局担当 藤村哲 【代表者名】 会長 降旗一路 【TEL】 090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_katehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市寿北 9-7-17
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

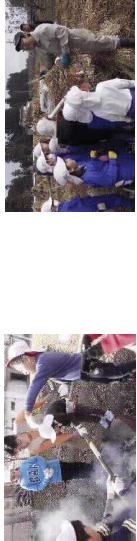
【分類：校内外両方で可】

講座名称	体験！体感！外あそび!! (講座 No. 38)
支援事業内容	1 火起こし教室～舞切り式、古代から現代の人と火の繋がりがマチ、リタ、新聞を使わない火の起し方、育て方等 (燗製、保存食の知恵) 2 ネイチャージェーム、アイスブレイクゲーム、各種 3 木育体験…森のかげのけしのお守り作り (ペンダント、ストラップ) 4 ツリーハウス/秘密基地作り 5 その他松枯れ、湧水等地域探検、自然観察
対象	小学生全学年：プログラムにより個別にご相談
時間数	2時限分 (80～90分) ～3時限分 (120分)
講師人数	※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談 子ども30人に対して3～4人の講師
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費等は別途 (事前相談のうえ決定します。) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・材料費等は別途 (事前相談のうえ決定します。)
学校側で必要な準備	基本的には学校で準備頂くものは有りません。
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燗製用具のセット、ツリーハウス、ネイチャージェーム等、体験に必要な機材一式
講師について	四賀地区中川の、廃校小学校 (旧中川小学校) 活用について、平成25年松本市が募集したプロジェクト事業へ応募を行い採択され、平成26年4月より活動運営開始。 現在出前 (出張によるプログラム企画、運営) をメインに活動中です。公民館、児童会の主催する外あそび体験学習、小学校の総合学習支援参加、民間運営のキャンプ 支援等に参加しています。
開催実績	令和2年度 梓川小学校：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食 令和4年度 梓川小学校：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食 令和4年度 梓川小学校：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食 令和5年度 梓川公民館：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食 令和5年度 梓川小中学校：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食 令和5年度 梓川小学校：人と火の繋がりがネイチャージェーム/燗製試食
その他	ツリーハウス キャンプ、冒険くらぶ支援、地域体験活動企画運営
講師連絡先	【団体名】 信州やがいたいけん楽校ぶらす 【担当者名】 降幡光幸 【代表者名】 降幡光幸 【TEL】 090-3042-0744 (随時連絡可能) 【FAX】 0263-87-2038 【Eメール】 m_furig.tlc2010@way.ocn.ne.jp 【HP】 http://yt-plus.com/ 【ブログ】 http://yt-plus.blogspot.jp/ 【住所】 〒390-0315 松本市岡田町 630-6
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No. 39)
支援事業内容	自然と環境について学べる講座です。プロジェクトWILLDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や、環境について学びと気づきを得ていただけます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。 
対象	小1から中3までの児童・生徒、特別支援学級も対応可能
時間数	45～100分程度
講師人数	子ども15人に講師1名目安
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの 持込資材等	同上
講師について	自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで8年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。
開催実績	平成29年度 田川小学校 平成29～令和2年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 安曇小学校 令和元年度～5年度 波田小学校特別支援学級
その他	・No.40の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田4507-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No. 40)
支援事業内容	自然体験と農業について学べる講座です。 身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。 
対象	小1から中3までの児童・生徒(特別支援学級対応可能)
時間数	45～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名目安
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・調理実習器材1,000円程度(事前相談のうえ決定します。) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食材費1人約300円(事前相談のうえ決定します。)
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの 持込資材等	同上
講師について	自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで9年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。
開催実績	平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 菅野小学校
その他	・No.39の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田4507-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外・校外両方で可】

講座名称	自然体感プログラム (講座 No. 4 1)
支援事業内容	  学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発見や気づきを大切に、「自然を見る目」を育てることができると期待する講座です。
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45～90分程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ・交通費2日分 (下見・当日) → ③7 円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2 往復 × 2 日分 (下見・当日) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 (基本的には特にありません。)
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品
講師について	塩尻市を拠点に、自然体感活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体感活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージームなどの自然体感活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体感 (ネイチャージーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～5年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」
その他	・No.15、42の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@powaon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市丘郷厚 685
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外・校外両方で可】

講座名称	外あそびの達人講座 (講座 No. 4 2)
支援事業内容	【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を実践から学ぶことが出来ます。木があれば、ハンモックや基地づくりができます。 【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことが出来ます。たき火は、たき火台を使っています。  
対象	小学校1年生～中学校3年生、特別支援学級
時間数	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ・交通費 (自家用車) → ③7 円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2 往復 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食料費 (たき火で焼いて食べたい物があれば) たき火が実施可能な場所の確保 (たき火の場合)
学校側で必要な準備	ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具
講師からの持込資材等	塩尻市を拠点に、自然体感活動を実施している法人です。
講師について	小学生を対象にした年間の自然体感活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージームなどの自然体感活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体感 (ネイチャージーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～5年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」
その他	・希望があれば、校外でも実施できます。 ・ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできます。時間によっては両方実施することもできます。 ・No.15、41の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@powaon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市丘郷厚 685
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	キャンプ・野外生活 基礎 (講座 No. 4 3)	
支援事業内容	何を失ったら人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、野外において確保する考え方を学ぶ。その中で一番大切な体温保持するシェルター（雨風を防ぐもの）作りを体験する講座です。 	
対象	小4から中3まで、特別支援学級	
時間	2 時間程度	
講師人数	1 クラスに講師1人（2人以上いれば尚良い）	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000 円（授業1 時限毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1 グループ(5人以下)で、タープ(1)、ロープ(4)、ペグ(4)、ハンマー(1)、ポール(2)が必要。レンタル代1,000 円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし	
学校側で必要な準備	屋内で盛雪とロープワークを学び、屋外でシェルターを作ります。体温保持に関する資料(1人1 枚)の印刷	
講師からの持込資料等	タープ、ロープ、ペグ、ハンマー、ポールを必要数	
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。	
開催実績	平成30 年度、31 年度 鎌田児童センター 平成30 年度 本郷図書館、公民館講座 平成30 年度 芳川小学校	
その他	・No. 20、21、22 の講座も提供しています。	
講師連絡先	【団体名】 すえなみプロジェクトスクール長野 【講師名】 代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク（ee ネット）事務局 中林 直子 【TEL】 0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】 0263-86-8739 【メール】 ecoconet@gominetnagano.jp	
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	セブン-イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～ (講座 No.44)	
支援事業内容	食品ロスおよびプラスチック削減等、環境について学べる講座です。 	
対象	小3から中2まで、特別支援学級	
時間	約90分程度	
講師人数	子ども約100人（1 学年）に講師1人	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき0 円（授業1 時限毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・アンケート用紙を書く机等 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・筆記用具	
学校側で必要な準備	投影用プロジェクター、スクリーン、机（講師台）、マイク、延長コード、HDMI コード類、指示棒（ポインタ）	
講師からの持込資料等	スライド、PC、 サンプル（可能な場合に限る）、アンケート用紙	
講師について	地区の現場責任者およびフィールドカウンセラー	
開催実績	令和5 年度 緑が丘小、芹田小（長野市） 令和5 年度 明善小、中山小（松本市）	
その他	事前に授業内容を打ち合わせ及び授業の日程調整をお願いします	
講師連絡先	【団体名】 セブン-イレブン・ジャパン 【担当者名】 田澤 恵康 【TEL】 0263-35-9491（午前9時以降なら連絡可能） 【FAX】 0263-35-0099 【メール】 tazawa-yoshiyasu@sei.7andi.co.jp 【HP】 https://www.sei.co.jp/company/ 【住所】 〒386-0012 松本市中央1-2-25 松田屋本店ビル4 階	
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】 (講座No. 45)
支援事業内容	気候変動の根本的な構造と環境倫理について学べる講座です。 ・なぜここまで気候変動を深刻化させるのか ・気候変動を深刻化させてきたのは誰か ・今のままではどうなるか 以上のようなことを話したうえで、児童・生徒とともに、大人は子どもたちのために何をしているのかを話し合います
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	45分程度（1時間程度）
講師人数	子ども30人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎）、交通費 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	黒板またはホワイトボード（ともにマグネットが貼り付くもの）
講師からの持込資材等	KPシート（説明に用いるA4サイズの手書きのシート）
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2021～2024年度 教職員を対象としたゼロカーボン研修 富士見町森のオフィスの環境問題教室講師、その他の多数の講師経験
その他	・プログラム実施の2カ月前にはメールで申込連絡をお願いします。 ・No.1、16の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島 安人 【TEL】0266-52-0160（留守電） 【FAX】0266-52-0160 【メール】nematsu@gmail.com 【HP】https://www.enet-matsumoto.net/ 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、地球温暖化問題とゼロカーボン【ゼロカーボン学習プログラム】（講座No. 46）
支援事業内容	気象予報士が、さまざまな地球環境問題を、デジタル地球儀「スフィア」とスライド、教材等で講習します。 地球環境全般、地球温暖化、異常気象と自然災害、自然エネルギー、ゼロカーボン、SDGs等が学べる講座です。
対象	小4から中3まで
時間	40分～1時間程度（調整可能）
講師人数	講師1人 小人数が適する。1クラス程度（20～30人程度）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン
講師からの持込資材等	デジタル地球儀一式、パソコン、教材（パンフレットなど）
講師について	気象予報士。松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）の代表を務め、イベントや講座等で啓蒙活動を行っています。松本市環境審議会委員、長野県地球温暖化防止活動推進員としても活動しています。
開催実績	松本市あるいはエコネットまつもと主催の環境講座など 県内各地の公民館講座（夏休みこども講座など） 実績多数
その他	講座No.5のデジタル地球儀版となります。少人数向けです。 講座No.14、19と同日開催が可能です。
講師連絡先	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク 【担当者名】鈴木 喜一郎 【TEL】 【FAX】 【メール】ruri-5460@ezweb.ne.jp（鈴木） canopus@go.tvm.ne.jp（宮澤） s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp（松本市環境・地域エネルギー課） 【HP】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） - 松本市ホームページ（city.matsumoto.nagano.jp） 【住所】
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	つくってみよう！ 私たちのまわりの温暖化対策マップ 【ゼロカーボン学習プログラム】（講座 No. 47）	
支援事業内容	身近な地域の環境や人びとの暮らしぶりを SDGs の視点から観察し、地球温暖化との関連で気づいたことをマップ（可視）化して共有し、議論することを通じて、自分たちにどのような行動や配慮が必要かを考える講座です。	
		
対象	小3から中3まで、特別支援学級（可）	
時間	120分～160分程度	
講師人数	子ども30人に講師1人	
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・模造紙、付箋（3色）、シール（3色）、マーカー、サインペン、プロジェクト ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし	
学校側で必要な準備	調べさせたいエリアの想定（講師と相談しながら）	
講師からの持込資材等	ノートパソコン、消耗品については講師側で一括手配することも可能	
講師について	2002年卒。①地元での自然エネルギーを活かした地域おこし活動、②参加型アセスメントの推進を両輪に活動している。地球温暖化防止活動環境大臣表彰（2005年度、2013年度）、日本水大賞「未来開拓賞」（2013年度）、佐野市田中正造記念賞大賞（2014年度）など	
開催実績	2023年度 須坂市立豊丘小学校（3～6年生）、中野市立高社中学校（1年生）	
その他		
講師連絡先	【団体名】 NPO 地域づくり工房 【担当者名】 中村正樹、森本宏夫 【代表者名】 森本宏夫 【TEL】 0261-22-7601（午前9時～午後5時） 【FAX】 0261-85-8040 【メール】 npo@omachi.org 【HP】 https://npo.omachi.org/ 【住所】 〒398-0002 大町市大町 3302	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育（小学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、市内全小学校3年生対象に食品ロスをテーマとした出前講座を行っています。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があればぜひご相談ください。

パワーポイント等を用いた学習のほか、歌・すごろく・DVD教材など、さまざまなコンテンツをご用意しています。



◇食品ロスすごろくのご紹介◇

食べものが収穫されるまで・購入されるまで・料理するまで・食べるまでに、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。
必要部数を印刷してお渡しすることもできます。
※対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

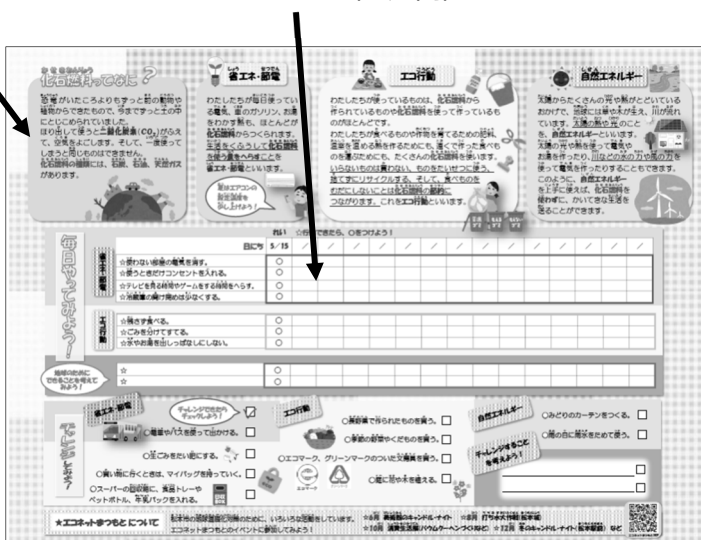
省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

☆実施希望の場合は、環境・地域エネルギー課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費
登録料無料



3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します（家族でも可）。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳等をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



○活動をはじめるには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができますので、興味がありましたら以下の URL からホームページにアクセスしてみてください。

【こどもエコクラブ URL】 <http://www.j-ecoclub.jp>

令和6年度
松本市小中学校
環境教育支援事業報告書

発 行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電 話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp
編 集 松本市環境エネルギー部
環境・地域エネルギー課
協 力 中信地区環境教育ネットワーク
印 刷 庁内印刷

